

第4次射水市行財政改革集中改革プラン

令和3年度進捗状況報告書

令和4年6月
射 水 市

目 次

1 第4次集中改革プランの進捗状況について	1
① 取組の進捗状況	1
② 取組による効果額	2
2 取組内容（一覧）	3
3 取組内容（個表）	6
(1) 協働・共創による質の高い行政経営の推進	7
① 市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実	7
② ICT（情報通信技術）の有効活用と効果的な市民サービスの提供	12
③ 民間活力によるサービスの向上	21
(2) 効率的・戦略的な財政運営	23
① 事務事業の効率化・適正化	23
② 公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化	30
③ 自主財源の確保及び創出	41
④ 公営企業の経営健全化	46
(3) 職員と組織の質の向上	51
① 職員の能力及び意欲向上の推進	51
② 時代の変化に対応した弾力的な組織体制の構築	53
③ 職員定数及び給与の適正化	54

1 第4次集中改革プランの進捗状況について

計画期間の3年目である令和3年度末の進捗状況は、次のとおりです。

①取組の進捗状況

区 分	完了	順調	概ね順調	遅延	中止・変更
基本方針1 協働・共創による質の高い行政経営の推進(28取組)	2	18	8	0	0
① 市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実(8取組)	0	4	4	0	0
② ICT(情報通信技術)の有効活用と効果的な市民サービスの提供(17取組)	2	13	2	0	0
③ 民間活力によるサービスの向上(3取組)	0	1	2	0	0
基本方針2 効率的・戦略的な財政運営(47取組)	5	24	17	1	0
① 事務事業の効率化・適正化(12取組)	2	5	5	0	0
② 公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化(18取組)	2	9	6	1	0
③ 自主財源の確保及び創出(9取組)	1	6	2	0	0
④ 公営企業の経営健全化(8取組)	0	4	4	0	0
基本方針3 職員と組織の質の向上(8取組)	0	3	5	0	0
① 職員の能力及び意欲向上の推進(3取組)	0	0	3	0	0
② 時代の変化に対応した弾力的な組織体制の構築(2取組)	0	2	0	0	0
③ 職員定数及び給与の適正化(3取組)	0	1	2	0	0
計83取組	7	45	30	1	0

【凡例】

- 完了 … 計画期間中の取組が完了したもの
 順調 … 計画どおりに進捗しているもの
 概ね順調 … 概ね計画どおりに進捗しているが、一部で遅れがみられるもの
 遅延 … 遅れているもの
 中止・変更 … 検討・協議結果や社会経済情勢の変化等により取組を中止又は取組内容の変更を行ったもの

※取組の狙う効果や「完了」により得られた効果は、次のとおり整理しています。

○経費の節減	○費用対効果の向上	○事務効率の向上
○業務量の低減	○公平性・公正性の確保	○地域の活性化・魅力向上
○財政・経営の健全化	○透明性の確保・市民への説明責任	
○市民協働の推進	○サービスの向上	○職員の能力・組織力の向上

②取組による効果額

年度	収支改善額		計
	(経費の削減)	(独自財源の確保)	
令和元年度	42,343 千円	13,789 千円	56,132 千円
令和2年度	45,646 千円	14,962 千円	60,608 千円
令和3年度	31,993 千円	8,179 千円	40,172 千円

年度	土地売払収入	企業版ふるさと納税 寄附額	市債繰上償還による 利子負担軽減額
令和元年度	97,237 千円	2,000 千円	2,490 千円
令和2年度	0 千円	18,000 千円	0 千円
令和3年度	262,974 千円	65,700 千円	0 千円

※収支改善額は、当該年度の取組によって、翌年度の予算に反映した効果額です。土地売払収入、企業版ふるさと納税寄附額、利子負担軽減額は、当該年度の実績額です。

なお、内訳は、6ページ以降の「3 取組内容（個表）」に記載しています。

2 取組内容（一覧）

基本方針	取組項目	番号	取組名	担当課	進捗状況	頁
1 協働・共創による質の高い行政経営の推進	① 市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実	1	公民連携の推進	人事課、資産経営課	概ね順調	7
		2	市ホームページのリニューアル	未来創造課	概ね順調	8
		3	みえる・わかる・わかり合えるミーティング等の実施	未来創造課	順調	8
		4	自主防災組織の強化及びネットワーク化	総務課	概ね順調	9
		5	NPOとの協働によるまちづくり	市民活躍・文化課	順調	9
		6	コミュニティセンターの指定管理者制度への移行	市民活躍・文化課	順調	10
		7	地域型市民協働事業の推進	市民活躍・文化課	概ね順調	10
		8	まちづくりの担い手となる人材の発掘・育成	市民活躍・文化課	順調	11
	② ICT（情報通信技術）の有効活用と効果的な市民サービスの提供	9	テレワーク制度の導入	人事課	完了	12
		10	A I - O C R の活用【R3新規】	人事課、未来創造課	順調	12
		11	スマート窓口の導入（行政手続のデジタル化）【R3新規】	人事課、未来創造課、市民課	順調	13
		12	R P A の有効活用	人事課、未来創造課	順調	13
		13	オープンデータの拡充【R3新規】	未来創造課	概ね順調	14
		14	テレビ会議システムの活用	資産経営課	順調	14
		15	I o T 利活用の推進	未来創造課	順調	15
		16	タブレット端末の活用による情報政策及びペーパーレス対策	総務課	順調	15
		17	マイナンバーカードの利活用の促進	資産経営課、市民課	概ね順調	16
		18	電子入札の導入【R3新規】	総務課	順調	16
		19	公共交通におけるICTの活用	生活安全課	順調	17
		20	スマートフォンアプリを活用した見守り体制の構築	地域福祉課	順調	17
		21	がん検診等のWEB予約化による事務効率化の推進	保健センター	順調	18
		22	ICTを用いた効率的な工事監理【R3新規】	建築住宅課	順調	18
		23	教員の教育環境充実のための統合型校務支援システムの整備	学校教育課	順調	19
		24	ICTを活用した学習活動の充実	学校教育課	順調	19
		25	スポーツ施設及び芸術文化施設等における予約管理システムの導入	生涯学習・スポーツ課、市民活躍・文化課等	完了	20
	③ 民間活力によるサービスの向上	26	市有バス業務の民間活用	資産経営課	概ね順調	21
		27	地域包括支援センターの機能強化	地域福祉課	概ね順調	22
		28	教員の教育環境充実のための部活動指導員の配置	学校教育課	順調	22

基本方針	取組項目	番号	取組名	担当課	進捗状況	頁
2 効率的・戦略的な財政運営	①事務事業の効率化・適正化	29	書面提出・押印・対面主義の見直し	人事課、総務課	完了	23
		30	使用料・手数料の適正化に関する計画的な見直し	人事課、財政課、資産経営課	概ね順調	23
		31	補助金の適正な運用	人事課、財政課	順調	24
		32	固定資産税賦課事務の効率化・適正化	課税課	完了	24
		33	窓口時間延長の在り方についての検討	市民課	順調	25
		34	持続可能な公共交通の実現	生活安全課	概ね順調	26
		35	在宅福祉介護手当・在宅要介護高齢者福祉金の見直し	地域福祉課	順調	26
		36	おむつ支給事業の見直し	地域福祉課	概ね順調	27
		37	地域ふれあいサロン事業の見直し	地域福祉課	順調	27
		38	射水市観光協会の機能強化	観光・定住課	概ね順調	28
		39	観光イベントの見直し	観光・定住課	概ね順調	28
		40	除雪業務の効率化の推進【R3新規】	道路課	順調	29
	②公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化	41	円滑な財政運営に向けた基金の積立及び市債の繰上償還	財政課	順調	30
		42	公共施設マネジメントの推進	資産経営課	順調	31
		43	公共施設の包括管理業務委託の導入検討	資産経営課	順調	32
		44	芸術文化施設の再編の検討	市民活躍・文化課	順調	32
		45	最終処分場の整備	環境課	順調	33
		46	衛生センターの整備	環境課	順調	33
		47	クリーンピア射水の長寿命化	環境課	完了	34
		48	小杉ふれあいセンターの廃止（民間事業者による跡地利活用）	地域福祉課	完了	34
		49	市立保育園の在り方の検討	子育て支援課	順調	35
		50	市立幼稚園の在り方の検討	子育て支援課	概ね順調	35
		51	市立児童館機能の移行	子育て支援課	概ね順調	36
		52	道の駅新湊のリフレッシュ	観光・定住課	概ね順調	36
		53	農村環境改善センターの在り方の検討	農林水産課	概ね順調	37
		54	大門コミュニティセンターの在り方の検討	農林水産課	概ね順調	37
		55	小学校の在り方の検討	学校教育課	概ね順調	38
		56	図書館の在り方の検討	生涯学習・スポーツ課	順調	39
		57	主要体育館の在り方の検討	生涯学習・スポーツ課	順調	39
		58	地区体育館機能の移行	生涯学習・スポーツ課	遅延	40

基本方針	取組項目	番号	取組名	担当課	進捗状況	頁
2 効率的・戦略的な財政運営	③自主財源の確保及び創出	59	企業版ふるさと納税制度の活用【R3新規】	政策推進課	順調	41
		60	有料広告収入等の独自財源の確保及び民間活力を活用した事業の推進	財政課	順調	41
		61	未利用市有地の売却	資産経営課	順調	42
		62	自動販売機設置業者選定における入札制度の導入等	資産経営課	順調	42
		63	多様な納付環境の整備	収納対策課	完了	43
		64	サテライトオフィス等の設置推進【R3新規】	商工企業立地課	順調	43
		65	新たな企業団地の造成	商工企業立地課	順調	44
		66	魅力ある企業立地助成金制度への工夫	商工企業立地課	概ね順調	44
		67	創業支援等事業計画の推進	商工企業立地課	概ね順調	45
	④公営企業の経営健全化	68	官民連携による水道事業の運営基盤強化	上下水道業務課	順調	46
		69	水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営	上下水道業務課	順調	47
		70	下水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営	上下水道業務課	順調	47
		71	水道事業における配水管渠の耐震化率の向上	上水道工務課	概ね順調	48
		72	水道事業における主要施設の長寿命化	上水道工務課	順調	48
		73	不明水対策の実施	下水道工務課	概ね順調	49
		74	総合的な経営改善策の推進	市民病院経営管理課	概ね順調	49
		75	市民病院の患者確保策	市民病院経営管理課	概ね順調	50
3 職員と組織の質の向上	①職員の能力及び意欲向上の推進	76	職員の資質の向上	人事課	概ね順調	51
		77	時間外勤務の縮減	人事課	概ね順調	52
		78	消防団組織の充実強化	消防本部総務課	概ね順調	52
	②時代の変化に対応した弾力的な組織体制の構築	79	組織体制の充実・強化	人事課	順調	53
		80	求める人材の採用・確保	人事課	順調	53
	③職員定数及び給与の適正化	81	職員の定年引上げ制度等の適正運用【R3新規】	人事課	概ね順調	54
		82	職員数の適正管理	人事課	概ね順調	54
		83	職員給与の適正化	人事課	順調	55

※表中「【R3新規】」と記載した取組名は、令和3年度改訂版から新たに追加した取組（9取組）

3 取組内容（個表）

番号	1	取組名	公民連携の推進	1	担当課	人事課、資産経営課
進捗状況						概ね順調
取組内容			・民間の発想を取り入れることによるサービスの向上 ・新たなビジネスチャンスの創出、地域経済の活性化 ・効率的な行政運営の実現 など 公民連携を推進することにより、新しい公共サービスの形成に取り組む。 ※PFS：地方公共団体等が民間事業者等に委託する事業であり、解決すべき行政課題に対応した成果指標を設定し、支払額が当該成果指標値の改善状況に連動するもの			
数値目標		項目名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)
達成率(R03)		—	—	—	2	3
取組スケジュール	5	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 包括業務を含めた民間委託		随時検討・実施				
4 取組状況		庁舎、小・中学校、保育園など 105 施設の維持管理及び小修繕を包括的に委託する「公共施設包括管理業務委託」の令和4年度からの導入に向け、サウンディング型市場調査及び公募型プロポーザルを実施し、受託事業者を選定した。				
(2) 指定管理者制度の効果的な活用		随時検討・実施				
取組状況		令和4年度からの導入に向け、新たに堀岡地域振興会及び大門地域振興会を各コミュニティセンターの指定管理者に指定したほか、陶房「匠の里」の指定管理者の更新に当たり、公募により新たな民間事業者を選定した。				
(3) 多様な事業形態の検討		随時検討・実施				
取組状況		民間企業の成長戦略や各自治体での取組について理解を深めるため、公民連携に関する職員研修を行うとともに、PFS実施事業者と意見交換を行った。				
(4) 共創・サウンディング調査の活用		随時検討・実施				
取組状況		公共施設包括管理業務委託の導入に向けたサウンディング型市場調査を実施（13 者が参加）し、事業実施に向けた課題や民間事業者の公募への参加意向等を把握した。				
(5) 既存の公共資産の有効活用		随時検討・実施				
取組状況		射水市フットボールセンター（令和4年4月供用開始）にネーミングライツを導入した。				
(6) PFS の活用検討		随時検討・実施				
取組状況		他自治体の事例を調査研究するとともに、取組実績のある事業者との意見交換をした。				
6 今後の取組		PFS の活用など、公民連携に関する職員向け研修を実施するとともに、公共施設や未利用市有地に関する民間提案制度を導入し、更なる公民連携の推進を図る。				
収支改善額（独自財源の確保）	7	（ 1,190 千円）（R01） （ 8,476 千円）（R02） （ 3,850 千円）（R03）				
狙う効果	8	備考				

- ① 進捗状況 … 令和3年度末の進捗について、1 ページに掲載している区分から選択しています。
- ② 実績(R03) … 数値目標を設定した取組は、令和3年度末の数値を記載しています。
- ③ 達成率(R03) … 以下の数式により達成率を算出しています。
- $$\frac{\text{実績値(R03)} - \text{当初(H30)}}{\text{目標値(R05)} - \text{当初(H30)}} \times 100$$
- なお、実績値(R03)が当初の水準を下回った場合は、達成率 0.0%としています。
- ④ 取組状況 … 令和3年度に取り組んだ内容や成果・実績等を記載しています。
- ⑤ 取組スケジュール … 令和3年度の取組状況及び令和4年度以降のスケジュールを記載しています。
- ⑥ 今後の取組 … 令和3年度の取組状況を踏まえた今後の取組内容を記載しています。
- ⑦ 効果額 … 令和3年度の取組状況による効果額があった場合は記載しています。
- ・「収支改善額」は令和3年度の取組によって、令和4年度の予算に反映した額です。
 - ・「土地売却収入」と「利子負担軽減額」は令和3年度実績額です。
- ⑧ 備考 … 「完了」した取組については、得られた効果の具体的な内容を記載しています。
- また、令和3年度の取組状況を踏まえて、令和4年度以降の取組スケジュールを変更した場合は、その旨を記載しています。
- ※その他の箇所については、特に記載がない限りプラン策定時の内容です。

基本方針

1 協働・共創による質の高い行政経営の推進

取組項目

① 市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実

番号	1	取組名	公民連携の推進		担当課	人事課、資産経営課
					進捗状況	概ね順調
取組内容	・民間の発想を取り入れることによるサービスの向上 ・新たなビジネスチャンスの創出、地域経済の活性化 ・効率的な行政運営の実現 など 公民連携を推進することにより、新しい公共サービスの形成に取り組む。 ※ P F S：地方公共団体等が民間事業者等に委託する事業であり、解決すべき行政課題に対応した成果指標を設定し、支払額が当該成果指標値の改善状況に連動するもの					
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)
	—		—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(1) 包括業務を含めた民間委託			随時検討・実施			
取組状況	庁舎、小・中学校、保育園など 105 施設の維持管理及び小修繕を包括的に委託する「公共施設包括管理業務委託」の令和4年度からの導入に向け、サウンディング型市場調査及び公募型プロポーザルを実施し、受託事業者を選定した。					
(2) 指定管理者制度の効果的な活用			随時検討・実施			
取組状況	令和4年度からの導入に向け、新たに堀岡地域振興会及び大門地域振興会を各コミュニティセンターの指定管理者に指定したほか、陶房「匠の里」の指定管理者の更新に当たり、公募により新たな民間事業者を選定した。					
(3) 多様な事業形態の検討			随時検討・実施			
取組状況	民間企業の成長戦略や各自治体での取組について理解を深めるため、公民連携に関する職員研修を行うとともに、P F S実施事業者と意見交換を行った。					
(4) 共創・サウンディング調査の活用			随時検討・実施			
取組状況	公共施設包括管理業務委託の導入に向けたサウンディング型市場調査を実施（13 者が参加）し、事業実施に向けた課題や民間事業者の公募への参加意向等を把握した。					
(5) 既存の公共資産の有効活用			随時検討・実施			
取組状況	射水市フットボールセンター（令和4年4月供用開始）にネーミングライツを導入した。					
(6) P F S の活用検討			随時検討・実施			
取組状況	他自治体の事例を調査研究するとともに、取組実績のある事業者との意見交換をした。					
今後の取組	P F S の活用など、公民連携に関する職員向け研修を実施するとともに、公共施設や未利用市有地に関する民間提案制度を導入し、更なる公民連携の推進を図る。					
収支改善額（独自財源の確保）			（ 1,190 千円）（R01） （ 8,476 千円）（R02） （ 3,850 千円）（R03） №60「有料広告収入等の独自財源の確保及び民間活力を活用した事業の推進」の内数			
狙う効果	○経費の節減 ○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上 ○市民協働の推進 ○サービスの向上		備考			

番号	2	取組名	市ホームページのリニューアル		担 当 課	未来創造課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	使いやすく、より多くの人に閲覧・活用が見込める機能性・デザイン性のあるホームページの構築、また、職員が効率的かつ容易に更新できる管理システムの構築を前提とした、ホームページ及びシステム環境のリニューアルを令和元年度に行い、運用する（令和元年度実施済）。						
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	「市ホームページを利用して必要な情報をすぐ入手できた」と回答した人の割合 （広報アンケート結果 ※次回令和3年度実施予定）	%	47.5	44.4	60.0	0.0%	
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
(1) 市ホームページのリニューアル		実施(済)	運用				
取組状況	トップページのスライド画像や新着一覧のピックアップ機能を活用し、新型コロナウイルスワクチン接種情報の発信など、ワンクリックで重要なページにアクセスできるよう利便性の向上に努めた。また、広報アンケートを実施した。						
今後の取組	広報アンケートの結果を踏まえ、引き続き、市ホームページ利用者の利便性向上に努めていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○透明性の確保・市民への説明責任 ○サービスの向上		備考				

番号	3	取組名	みえる・わかる・わかり合えるミーティング等の実施			担 当 課	未来創造課
						進捗状況	順調
取組内容	「みえる・わかる・わかり合えるミーティング」について、市民の要望や、新型コロナウイルス感染症への対応も含めて柔軟な運用形態を検討する。併せて、市民ニーズ等を踏まえたメニューの見直しを行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) ミーティング等の実施			実施				
取組状況	市政全般に関する取組や課題の説明、市民との意見交換のほか、タウンミーティングにおいては「新たな総合計画の策定に向けて」をテーマに開催した。 ・市長とのコーヒートーク 2回開催 参加者合計 21名 ・市長の出前講座 1回開催 参加者合計 17名 ・市長のタウンミーティング 3回開催 参加者合計 172名						
今後の取組	コロナ禍においても、市民との情報共有を図るとともに、市民の声を市政に反映していくための柔軟な運用形態を検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○透明性の確保・市民への説明責任		備考				

番号	4	取組名	自主防災組織の強化及びネットワーク化			担 当 課	総務課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	自主防災組織の活性化と活動の円滑化を推進するため、地域における防災活動のけん引役としての役割を担う防災士を引き続き養成することとし、資格取得について支援する。併せて、避難所の運営等における女性の参画を推進するため、女性防災士の養成に努める。 また、市内に存在する防災士で構成する射水市防災士連絡協議会で、研修会や情報交換を行い防災士のスキルアップや防災組織間の連携を図ることで自主防災組織の活性化につなげる。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	地域振興会から推薦され資格取得をした防災士の数		人	57	77	110	37.7%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 防災士の資格取得支援			働き掛け実施				
取組状況	県の防災士養成研修事業を活用し、地域の防災リーダーとして新たに11名（うち女性5名）を養成し、地域における防災力の向上に努めた。						
今後の取組	自然災害が年々激甚化・広域化してきている中、市民の被害を最小限に抑えるためには、市民一人ひとりの日頃からの心掛けと準備が重要であることから、今後も引き続き、市と防災士が連携し、市民の防災意識の向上に向けた取組を推進していく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○市民協働の推進		備考				

番号	5	取組名	NPOとの協働によるまちづくり			担 当 課	市民活躍・文化課
						進捗状況	順調
取組内容	市内NPOの活動促進連携事業として、NPO活動展の開催を継続して実施するほか、NPOポータルサイトの活用促進に取り組む。 また、NPO同士の連携や、NPOと地域振興会等との連携を推進していく。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	NPO同士やNPOとまちづくり関係団体との連携事業		件	0	2	4	50.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) NPOポータルサイトの活用促進			継続して実施				
取組状況	ポータルサイト登録団体に積極的な情報発信を促すとともに、県民ボランティア総合支援センター等からのお知らせを随時掲載し、情報発信を行った。						
(2) NPO同士等の連携推進			検討(済)	実施			
取組状況	まちづくり関係団体連絡会議を開催し、各団体の取組や連携して実施した事業を紹介するなど、NPO法人や地域振興会等のまちづくりに取り組む団体同士の連携・協力を進めるきっかけづくりを行った。						
今後の取組	引き続き、団体相互のネットワーク形成を図るとともに、団体同士の連携・協力が進むような体制づくりに努める。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○市民協働の推進		備考				

番号	6	取組名	コミュニティセンターの指定管理者制度への移行		担 当 課	市民活躍・文化課	
					進捗状況	順調	
取組内容	順次、コミュニティセンターを地域振興会による指定管理者制度へ移行する。 移行に際しては、適切な助言等を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	コミュニティセンターの指定管理者制度移行数（27地区） ※改修等で直営に一旦戻した施設も指定管理者制度移行施設とみなす。		施設	24	25	27	33.3%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 指定管理者制度への移行			順次移行				
取組状況	令和4年度からの導入に向け、新たに堀岡地域振興会及び大門地域振興会を指定管理者に指定した。						
今後の取組	指定管理者制度に移行したコミュニティセンターを管理する地域振興会に対し、適切な助言等を行う。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上 ○市民協働の推進		備考				

番号	7	取組名	地域型市民協働事業の推進		担 当 課	市民活躍・文化課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	行政が実施していた事業のうち、協働の視点に立ち、協働にふさわしい事業を地域振興会へ移行するとともに、地域振興会による提案事業の公募についても進める。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	地域型市民協働事業への移行事業数		件	34	36	40	33.3%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 地域型市民協働事業への移行			順次移行				
取組状況	公園維持管理事業、街灯管理事業や地域ぐるみ除排雪事業など協働にふさわしい 36 事業を地域型市民協働事業で実施した。						
今後の取組	地域型市民協働事業の更なる充実・強化を図るべく、既存事業の見直しや新規事業の追加に取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上 ○市民協働の推進 ○サービスの向上		備考				

番号	8	取組名	まちづくりの担い手となる人材の発掘・育成			担 当 課	市民活躍・文化課
						進捗状況	順調
取組内容	まちづくりに参画する市民の裾野を広げるため、市民が協働のまちづくりについての理解を深める「射水まちづくりプラットフォーム」事業を実施するとともに、既にまちづくりに携わっている市民のスキルアップを図る「射水まちづくりセミナー」事業を、民間活力を導入し実施する。 また、まちづくり人材のネットワーク化に向け、令和2年度から新たに「NPO団体等連携強化事業」を開始する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	まちづくり講座年間受講者数		人/年	22	102	180	50.6%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) まちづくり人材育成事業の実施			継続して実施				
取組状況	まちづくり実践者のスキルアップやネットワーク形成を目的とした「射水まちづくりセミナー」を3回開催し、延べ64名（実参加者数54名）が参加した。また、まちづくりの取組を学ぶ体験型プログラム「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を2回開催し、延べ38名が参加した。						
(2) まちづくり人材のネットワーク化事業の実施			検討(済)	実施			
取組状況	まちづくり関係団体連絡会議を開催し、NPO法人等まちづくりに取り組む団体が相互に連携を図るきっかけを提供し、まちづくり人材のネットワーク形成を図った。						
今後の取組	幅広い年齢層がまちづくりに主体的に関わるよう、デジタル技術を活用した電子自治会アプリの導入支援を行うなど、引き続き、まちづくりの担い手となる人材の発掘や育成に取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○市民協働の推進 ○サービスの向上		備考				

取組項目 ② ICT（情報通信技術）の有効活用と効果的な市民サービスの提供

番号	9	取組名	テレワーク制度の導入		担 当 課	人事課	
					進捗状況	完了（令和3年度）	
取組内容	テレワーク実施に向け情報システムの選定を行いテレワーク環境を整えるとともに、制度やルールを策定し、試行実施を行う。その後、試行実施における課題等の整理を行い、令和3年度中の本格実施を目指す。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 制度設計、情報システム環境整備				試行(済)			
取組状況							
(2) 本格実施				検討	実施		
取組状況	令和3年5月から本格実施を開始し、延べ50人の職員がテレワークによる勤務を行った。						
今後の取組							
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上		備考	市職員のワーク・ライフ・バランスの推進及び時間の有効活用に寄与し、事務効率の向上につながった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止につながった。			

番号	10	取組名	A I－O C Rの活用【R 3新規】		担 当 課	人事課、未来創造課	
					進捗状況	順調	
取組内容	オンライン申請への移行を推進している一方で、今後も紙での提出が一定程度あるため、A I－O C Rを導入し、R P Aと組み合わせた入力業務の自動化の実証実験を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	－		－	－	－	－	－
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 実証実験・効果検証					実証実験(済)	選定	本格運用
取組状況	取扱件数の多い市税口座振替依頼書など5種類の様式について、A I－O C Rの実証実験を行い、各様式の正読率の把握や誤読の原因と考えられる改善策を検討した。						
今後の取組	実証実験の結果を基に本格運用を検討するとともに、R P Aとの連携による業務の効率化に取り組む。						
収支改善額					千円		
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減		備考				

番号	11	取組名	スマート窓口の導入（行政手続のデジタル化） 【R3新規】		担 当 課	人事課、未来創造課、 市民課	
					進捗状況	順調	
取組内容	電子申請の拡充や窓口でタブレット等を用いた受付事務（書かない窓口）の導入を検討するとともに、RPAの活用による電子データの自動取込により、事務の効率の向上を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	電子申請業務数		業務数	35	125	100	138.5%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 電子申請の拡充					実施		
取組状況	電子申請システムの操作説明会を開催するなど、手続の電子化の拡充を図った。						
(2) 書かない窓口（キャッシュレス決済を含む）の導入検討					調査・検討		
取組状況	ワーキンググループを立ち上げ、スマート窓口（書かない窓口、キャッシュレス対応など）についての方向性を示し、具体的な取組内容、導入スケジュールを検討した。						
今後の取組	令和4年度から証明手数料のキャッシュレス決済対応を行うとともに、令和5年度中のスマート窓口の運用を目指す。						
収支改善額					千円		
狙う効果	○事務効率の向上 ○サービスの向上		備考				

番号	12	取組名	RPAの有効活用		担 当 課	人事課、未来創造課	
					進捗状況	順調	
取組内容	RPA導入に向けて実証実験を行い、効果を検証する。 基幹系システムを共同利用する市町村で、業務手順を統一化し、データ入力や更新等の作業をRPAを活用して自動化することにより、入力誤りの防止や業務時間の削減を図る。 その他の庁内業務においても、業務の自動化・迅速化・効率化に取り組み、組織の生産性の向上を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	RPA対象業務		業務	—	14	18	77.8%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 実証実験・効果検証・本格導入			実証実験(済)	本格導入・運用(済)			
取組状況							
(2) RPA活用の横展開				運用			
取組状況	新たにRPAを活用する業務の洗い出しを行い、導入効果の高い3業務（年間334時間の削減見込み）を選定し、10月から運用した。						
今後の取組	引き続き、RPAを活用する対象業務の拡大に向け、業務の洗い出し及び効果検証に取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減		備考				

番号	13	取組名	オープンデータの拡充【R3新規】		担 当 課	未来創造課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	各課で保有するデータについて、公開できるデータの洗い出しを行い、オープンデータ化の拡充に取り組む。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	オープンデータ数		項目	97	99	150	3.8%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) オープンデータ化						随時実施	
取組状況	既に公開している項目のデータを最新のデータに更新した。						
今後の取組	引き続き、オープンデータの拡充に取り組むとともに、他自治体を参考に閲覧や検索しやすくなるようなページ変更を検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○サービスの向上		備考				

番号	14	取組名	テレビ会議システムの活用			担 当 課	資産経営課
						進捗状況	順調
取組内容	時間や場所の制約を受けることなく、情報セキュリティを確保しながら、安定した通信環境によるスムーズなコミュニケーションを可能としたテレビ会議システムを導入し、業務の効率化を図る。また、市が主催する講演会や研修会などを Web 上で実施することについても検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	テレビ会議の年間開催数		回/年間	—	277	210	131.9%
	取組スケジュール		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) テレビ会議・Web 会議の開催				検討(済)	運用		
取組状況	タブレット端末を 50 台購入し、必要な課へ追加配置を行った。 職員採用面接、各種研修会、会議等をテレビ会議システムで実施した。						
今後の取組	現在、導入しているテレビ会議システムは、相手先の接続環境により使用できないケースがあり、また、同時接続数にも限りがあることから、新たなシステムの導入を検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○事務効率の向上		備考				

番号	15	取組名	I o T利活用の推進		担 当 課	未来創造課	
					進捗状況	順調	
取組内容	民間事業者と連携してI o Tの基盤となる通信環境を活用し、令和2年度までの実証事業により費用対効果を検証しながら、有効な業務について運用する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	I o T利活用業務数		業務	—	5	10	50%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) I o T利活用業務			実証実験(済)		運用		
取組状況	排水路の水位観測など4業務の運用を開始するとともに、新たに6業務の実証実験を行い、効果が確認できた1業務（保育園の登降園管理）について運用を開始した。						
今後の取組	令和3年度に実施した実証実験のうち2業務（イノシシ罾の監視、アンダーパスの冠水状況監視）について、継続して実証実験に取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上 ○サービスの向上		備考				

番号	16	取組名	タブレット端末の活用による情報政策及びペーパーレス対策		担当課	総務課	
					進捗状況	順調	
取組内容	必要な範囲でタブレット端末等を導入し、費用対効果の検証を行いながら、見直しを行う。 また、ペーパーレスに向けた取組として、紙の資料を配付しないようグループウェアやプロジェクターの活用等について検討を行う。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	ペーパーレス会議の年間開催数		回/年間	40	223	250	87.1%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 会議におけるペーパーレス化			一部実施(済)	順次移行			
取組状況	議会及び庁議のほか、新型コロナウイルス感染症対策本部会議、政策会議等をペーパーレス会議システムを使用して行った。						
今後の取組	議会及び庁議のほか、各種会議での使用を拡大していく。						
収支改善額（経費の削減）			2,500 千円 （R02）				
狙う効果	○経費の節減		備考				

番号	17	取組名	マイナンバーカードの利活用の促進			担 当 課	資産経営課、市民課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	国の施策や社会情勢に注視しながら、今後も「介護ワンストップ」の追加等、サービスの充実に取り組んでいく。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	マイナンバーカードの多目的事業取組数		業務	4	5	10	16.7%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 多目的利用の検討			順次導入				
取組状況	マイナンバーカードの利便性向上を図るため、介護保険に係る申請手続を電子申請で行うことができる「介護ワンストップ」を導入した。						
今後の取組	今後も国の動向に注視しつつ、マイナンバーカードを用いた申請手続などの電子化に取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○業務量の低減 ○サービスの向上		備考				

番号	18	取組名	電子入札の導入【R3新規】		担当課	総務課
					進捗状況	順調
取組内容	県及び県内他自治体との共同調達により、電子入札システムを導入する。					
数値目標	項目名	単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—	—	—	—	—	—
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) システムの決定・開発				検討		
取組状況	県市町協議会による公募型プロポーザルを行い、富山県電子入札共同システム導入業者を選定し、契約を締結した。 電子入札システム導入に向け、現在、市で運用している契約管理システムの改修を行った。					
(2) 本稼働（令和4年7月）					本稼働	
取組状況						
今後の取組	令和4年度からの本稼働に向けて、射水市競争入札参加資格者に通知を行うなど準備を進めていく。 また、令和5年度から実施する物品・役務の電子入札について、対象とする業種や入札方式を決定する。					
収支改善額			千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上	備考				

番号	19	取組名	公共交通におけるICTの活用			担当課	生活安全課
						進捗状況	順調
取組内容	キャッシュレス決済について、万葉線においては、交通系ICカードの導入について引き続き関係機関と協議し、コミュニティバスにおいては、定期券の電子化及びQRコード決済の導入について検討する。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) グーグルマップやとやまロケーションシステムでのコミュニティバスの路線検索			導入(済)				
取組状況							
(2) コミュニティバスでのキャッシュレス決済の導入			導入検討(済)		実証実験	一部導入	
取組状況	スマートフォンを活用した定期券の実証実験を行った。(購入実績：618件)						
(3) 万葉線交通系ICカード導入検討			導入検討				
取組状況	交通系ICカードの仕様や導入スケジュール等について、万葉線株式会社等の関係者と協議を行った。						
今後の取組	コミュニティバスのキャッシュレス化については、スマートフォンを活用した1日乗車券の導入やQRコード決済の導入などにより、サービスを拡充する。 万葉線の交通系ICカード導入については、引き続き関係者と協議を行う。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○サービスの向上		備考				

番号	20	取組名	スマートフォンアプリを活用した見守り体制の構築		担 当 課	地域福祉課	
					進捗状況	順調	
取組内容	認知症の高齢者等を地域全体で見守り合える体制を構築するため、課題の多い徘徊 SOS 緊急ダイヤル設置事業を廃止し、新たにスマートフォンアプリを活用した市民参加型の事業を導入し(令和 2 年度導入)、みまもりあい事業の普及啓発を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	みまもりあいアプリダウンロード数		件	—	2,714	2,360	115.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 徘徊 SOS 緊急ダイヤル設置事業の廃止				廃止(済)			
取組状況							
(2) みまもりあい事業の導入				導入(済)	運用	検証	
取組状況	引き続き、みまもりあい事業を実施した。 ※利用登録者数：31 名 (令和 4 年 3 月現在)						
(3) みまもりあい事業の普及啓発				普及			
取組状況	地域包括支援センター等の関係機関、各種講座開催時にチラシを配布し、普及啓発に取り組んだ。						
今後の取組	令和 3 年度において数値目標を達成したが、今後も、みまもりあい事業の普及啓発を推進し、地域の支援体制を強化する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上 ○市民協働の推進		備考				

番号	21	取組名	がん検診等のWEB予約化による事務効率化の推進		担 当 課	保健センター	
					進捗状況	順調	
取組内容	がん検診等の集団検診の予約は従来の方法に加えスマホ等でのWEB予約を令和2年度から本格実施し、事務の効率化を図る。 また、予約の利便性を向上させることにより、若年層の受診率の向上を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	WEB予約者の増加 (若年層：60歳未満)		%	—	55.9	65	86.2%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) がん検診等のWEB予約の実施			準備・試行(済)	実施			
取組状況	健康カレンダーや市広報の班回覧に加え、ヘルスポランティアによる受診勧奨を行うなど、積極的な周知に努めた結果、若年層（60歳未満）のWEB予約利用者数は、令和2年度に比べ198人増加し、受診率の向上につながった。						
今後の取組	従来の周知方法に加えて、市LINE公式アカウントによりWEB予約の情報発信を行うなどし、周知の更なる強化に努め、事務の効率化、若年層のがん検診受診者の増加につなげていく。また、分かりやすい予約システムとなるよう改善を行う。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上		備考				

番号	22	取組名	ICTを用いた効率的な工事監理【R3新規】		担当課	建築住宅課	
					進捗状況	順調	
取組内容	フットボールセンター整備工事等において、定例会議、施工状況確認の遠隔化の試験運用を実施して、長所・短所を洗い出し、課題の整理、調整を行うなど、令和5年度からの本格運用に向けた検討を行う。						
数値目標	項目名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) リモート会議、遠隔臨場の試験運用					試験運用		
取組状況	当初予定していたフットボールセンター整備工事のほか、大門中学校長寿命化工事、歌の森小学校プール改築工事において、リモート会議を行った。 フットボールセンター整備工事については、遠隔臨場による現場確認、材料検収を行った。						
(2) 問題点の検討・調整					検討・調整		
取組状況	リモート会議については、職員の作業効率が向上し、特に問題はなかった。 遠隔臨場については、施工者側の負担が大きく、発注者側も現場全体の状況把握が難しい等の問題があった。						
(3) 本格運用					本格運用		
取組状況							
今後の取組	リモート会議については、対象工事を拡大し、本格運用に向けて調整を行う。 遠隔臨場については、引き続き試験運用を継続し、問題点の検討・調整を行う。						
収支改善額					千円		
狙う効果	○事務効率の向上		備考				

番号	23	取組名	教員の教育環境充実のための統合型校務支援システムの整備		担 当 課	学校教育課	
					進捗状況	順調	
取組内容	全小中学校に統合型校務支援システムを整備し、校務事務の統一化・共有化による学校内及び学校間の情報を一元管理する体制を構築することで、教員の長時間勤務の解消を図り、より質の高い教育の実務につなげる。 また、システムの整備前と整備後の学校の状況を把握し、効果の検証を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 統合型校務支援システムの内容の検討及び整備				検討・整備(済)	全小中学校で活用		
取組状況	全小中学校で本格稼働した。稼働後における課題については順次検討及び対応を進めている。						
(2) 学校における活用状況の把握及び効果の検証					効果検証・活用方法の見直し		
取組状況							
今後の取組	システムを有効活用し教職員の校務の負担軽減と効率化をより実現するため、本システムの効果検証・活用方法の見直しを図る。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上		備考				

番号	24	取組名	I C Tを活用した学習活動の充実		担 当 課	学校教育課
					進捗状況	順調
取組内容	I C Tの専門的な知識をもつ人材を活用し、子供たちの習熟度が深まる授業方法等についての調査・研究をはじめ、専門的な知識を有する教員による公開授業の実施など、教育の質的向上を図りながら授業の実践に取り組む。					
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)
	—		—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(1) I C T教育研究部会の設置・運営			検討(済)	設置・運営		
取組状況	教育センターが中心となりプログラミング学習の進め方やI C T機器活用について調査研究を行う部会を立ち上げ、全小中学校の課題やニーズを捉え、小中の連携や系統性を踏まえたI C T教育の推進について4回の研究を行った。					
(2) 効果的な授業方法等の調査・研究			方法の検討(済)	随時検討・実施		
取組状況	令和2年度に作成した、9年間を見通したスキル、学習規律表、情報モラル表を基に各校で推進し成果や課題を整理した。					
(3) 公開授業の実施			随時検討・実施			
取組状況	全小中学校教員を対象としたI C T機器を効果的に活用するプログラミング教育の公開授業研修を中太閤山小学校で行い、教員の実践的指導力の向上を図った。					
今後の取組	I C T教育の研究部会を継続して開催し、各小中学校においてI C T機器を効果的に活用する授業実践を充実していく。また、運用において発生した課題について整理し、学校・家庭でより有効的に活用できるよう研究を進める。					
収支改善額				千円		
狙う効果	○サービスの向上		備考			

番号	25	取組名	スポーツ施設及び芸術文化施設等における予約管理システムの導入		担 当 課	生涯学習・スポーツ課、市民活躍・文化課 等	
					進捗状況	完了（令和3年度）	
取組内容	スポーツ施設等における予約管理システムの導入について検討し、施設の予約について、従来の方法に加えパソコンやスマートフォン等でのWEB予約を可能とする。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) スポーツ施設等予約管理システムの導入				検討		導入（済）	
取組状況	予約管理システムを構築し、令和4年3月からスポーツ施設及び芸術文化施設の予約について、従来の方法に加えパソコンやスマートフォン等でのWEB予約が可能となった。						
今後の取組							
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○サービスの向上		備考	予約手続のオンライン化により、利用者の利便性向上と新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減を図ることができた。 今後は、オリバースポーツフィールド射水に導入を予定している。			

取組項目 ③ 民間活力によるサービスの向上

番号	26	取組名	市有バス業務の民間活用		担 当 課	資産経営課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	運行に際し、安全面を第一義的に考慮するとともに安定的な車両の運行を確保するため、使用目的による基準の策定に取り組んでいるが、市有バス業務の今後の在り方についても検討を進める。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	運行費用の削減額（予算比較）		千円	－	1,000	300	333.3%
取組スケジュール			令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
(1) バスの運用形態の切替え			検討			見直し	
取組状況	これまでの市有バス利用実績等を精査し、民間貸切バスに移行した場合の影響額等を試算した。						
(2) 運行制限にかかる基準策定			検討・策定			見直し	
取組状況	老朽化した市有バスの安定的な運行を図るため、利用基準を策定した。						
(3) 利用団体等への周知			検討			実施	
取組状況	市有バス利用団体の所管課と協議を行い、市有バスの今後の在り方について協議した。						
今後の取組	市有バスを廃止し、民間貸切バス等の活用に向けて、各種団体等と協議を深め、理解を求めていく。						
収支改善額（経費の削減）			300 千円 （R01）				
			700 千円 （R02）				
			0 千円 （R03）				
			1,000 千円 （累計）				
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減		備考				

番号	27	取組名	地域包括支援センターの機能強化		担 当 課	地域福祉課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	高齢者人口推計、相談件数の実績等をまとめた体制整備案を基に大門福祉会及び社会福祉協議会と協議を進め、第8期介護保険事業計画（令和3年度から令和5年度まで）に反映させ、計画を推進する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 小杉南包括体制強化職員の配置			検討(済)	配置(済)			
取組状況							
(2) 在宅介護支援センターの見直し			検討(済)	一部見直し(済)	検討		見直し
取組状況	大島在宅介護支援センターの見直しについて、大門・大島圏域包括体制の検討・見直しと併せて協議を行った。						
(3) 大門・大島圏域包括体制の検討・見直し			検討				見直し
取組状況	大島在宅介護支援センターの運営法人である射水市社会福祉協議会と協議を行った。						
今後の取組	令和5年度の大島地域包括支援センターの設置に向けて、引き続き協議を行う。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○サービスの向上		備考				

番号	28	取組名	教員の教育環境充実のための部活動指導員の配置		担 当 課	学校教育課	
					進捗状況	順調	
取組内容	部活動指導員配置促進事業（国補助事業）を積極的に活用し、市内全中学校を対象に、各校の実態に合わせて部活動指導員を配置し、教員の時間確保と生徒の部活動への意欲向上等を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	部活動指導員の配置人数		人	4	18	18	100.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 部活動指導員の計画的な配置			順次実施			見直し	
取組状況	市内の中学校6校に、18名の部活動指導員を配置した。						
今後の取組	部活動指導員の人材確保、少子化が進展する中での学校の働き方改革を踏まえた部活動改革(地域部活動推進)との整理及び役割分担の明確化、補助金の部活動指導員配置年数の制限(5年)など、全国共通の課題は多いが、学校現場からの期待は大きいため、積極的に課題解決に取り組んでいく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○業務量の低減 ○市民協働の推進 ○サービスの向上		備考				

基本方針

2 効率的・戦略的な財政運営

取組項目

① 事務事業の効率化・適正化

番号	29	取組名	書面提出・押印・対面主義の見直し			担当課	人事課、総務課
						進捗状況	完了（令和3年度）
取組内容	テレワークの普及や事務の効率化を図る観点から、書面提出や押印に係る規程等の見直しを行う。 感染流行期においても審議会等が開催できるよう、オンライン環境や書面審議に係る規程を整備する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 書面提出・押印に係る規程等の見直し				見直し			
取組状況	主に国、県等の規定に基づく文書の規則・要綱等の改正を行った結果、押印の廃止ができない文書を除く1,763種類の文書の押印を廃止した。						
(2) 審議会等における書面審議規程の整備				整備			
取組状況	コロナ禍における附属機関の会議の開催について、「オンラインを活用した会議」と「書面（持ち回り）会議」についての留意事項を「審議会等の設置・運営ガイドライン」に明記した。						
今後の取組							
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上		備考	押印の廃止による行政手続の簡素化を図ることで市民の負担軽減につながった。 コロナ禍における審議会等の開催について、オンラインの活用と書面審議についての方針を示した。			

番号	30	取組名	使用料・手数料の適正化に関する計画的な見直し		担当課	人事課、財政課、資産経営課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	施設使用料については、毎年度の維持管理経費及び稼働率を把握し、令和5年度の次回改定に向けて必要な作業を進める。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 維持管理費及び稼働率の把握			現況把握				
取組状況	各施設の維持管理費や各部屋の稼働率等を調査・把握するとともに、公共施設等総合管理計画の改訂に当たり維持管理費の詳細を公表した。						
(2) 料金の見直し検討・決定・運用						検討	
取組状況	料金算定の基礎データとなる維持管理経費や稼働率の把握に努めた。						
今後の取組	使用料については、コロナ禍により施設稼働率が大幅に低下し、料金算定の基礎となる平年ベースの稼働率の把握が困難な状況を踏まえ、料金の見直し時期（令和4年度見直し、令和5年度適用）の延期を検討する。 手数料についても、コロナ禍における算出基礎数値に影響がみられる場合は、見直し時期の延期を検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○公平性・公正性の確保 ○財政・経営の健全化 ○透明性の確保・市民への説明責任		備考				

番号	31	取組名	補助金の適正な運用		担 当 課	人事課、財政課	
					進捗状況	順調	
取組内容	公平かつ適正で透明性のある補助金制度とするため、既存補助金内容を整理するとともに、全市的な見直しの統一基準となる「補助金の適正化に関するガイドライン」を令和４年度中に策定し、令和５年度予算の査定時からの運用を目指す。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	補助金の適正化に関するガイドラインの策定		%	—	0	100	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
(1) 既存補助金内容の整理			検討				
取組状況	補助金の内容等を精査し、令和４年度予算に反映させた。						
(2) ガイドラインの検討・協議・策定・運用					検討	運用	
取組状況	ガイドライン策定に向け、資料収集、概要作成など作業を進めた。						
今後の取組	令和４年度中に統一的な考え方をまとめた補助金ガイドラインを策定する。						
収支改善額（経費の削減）			22,861 千円 （R01）				
			24,323 千円 （R02）				
			22,675 千円 （R03）				
			69,859 千円 （累計）				
狙う効果	○費用対効果の向上 ○公平性・公正性の確保 ○財政・経営の健全化 ○透明性の確保・市民への説明責任		備考				

番号	32	取組名	固定資産税賦課事務の効率化・適正化			担 当 課	課税課
						進捗状況	完了（令和3年度）
取組内容	令和2年度に法務局と覚書を取り交わし、登記異動通知の電子データでの受領が可能となったことから、本市の固定資産税地図情報システムを更新し、登記異動情報等をシステム上でほぼ自動入力させるなどの作業方法見直しにより、業務量軽減及び入力ミスに起因する課税誤り防止に取り組む（県内初の取組）。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 固定資産税地図情報システム更新				構築(済)	運用		
取組状況	令和3年度から本格運用を開始し、業務量の軽減及び入力ミスに起因する課税誤りの防止に取り組んだ。						
今後の取組							
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減		備考	システム更新により業務の効率化及び業務量軽減が図られ、厳重に課税誤り防止のチェック作業を実施することができ、賦課事務の効率化・適正化につながった			

番号	33	取組名	窓口時間延長の在り方についての検討			担 当 課	市民課
						進捗状況	順調
取組内容	【証明発行窓口】 令和元年7月からコンビニで証明書を取得した場合、一律150円の免除を行っている。住民にメリットを周知し、利用者数を伸ばすことにより、休日窓口を廃止する。 【異動受付窓口】 マイナンバーカード交付事務において、休日及び平日延長による交付を継続し、交付率等の状況を見ながら廃止について検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	休日窓口の縮小、廃止		回	月4	月1	月0	75.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 休日証明発行窓口			検討			廃止	
取組状況	休日証明発行窓口を月2回から月1回に変更し、コンビニ交付の一律150円の免除を継続した。市内コンビニでのコンビニ交付のPRポスター掲示等の周知に努めた結果、マイナンバーカード交付件数増加の影響もあり、コンビニ交付取得件数が大幅に増加した。 ・コンビニ交付取得件数 令和2年度実績 6,715件（うち税証明 669件） 令和3年度実績 14,041件（うち税証明 1,441件）						
(2) 休日マイナンバーカード交付窓口			検討			廃止	
取組状況	月1回の休日マイナンバーカード交付窓口を実施した。10月から申請時来庁方式を実施し、マイナンバーカード取得率の向上に努めた。 ・マイナンバーカード交付件数 令和2年度交付件数 1,130件 令和3年度交付件数 1,232件						
今後の取組	令和4年度以降は休日証明発行窓口を廃止するとともに、引き続き、コンビニ交付サービスによる証明書発行の普及啓発を行う。 休日マイナンバーカード交付窓口については、マイナンバーカード取得率向上を図るため、継続して実施する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上		備考				

番号	34	取組名	持続可能な公共交通の実現		担 当 課	生活安全課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	持続可能な公共交通網の形成を図るため、本市の公共交通施策の指針となる「射水市地域公共交通網形成計画」を策定し、計画内で掲げるコミュニティバス等の路線再編の検討などの具体的な施策を着実に実施していく。併せて、コミュニティバス・デマンドタクシーの運行負担金の抑制及び地域内交通の導入を目指す。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R06)	達成率(R03)
	コミュニティバス・デマンドタクシー運行負担金		千円	268,807	279,254	250,000	0.0%
	コミュニティバス・デマンドタクシー利用者1人当たりの運行負担金		円/人	637	797	550	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 射水市地域公共交通網形成計画の策定と具体的施策の実施			策定(済)	順次実施			
取組状況	計画の重点実施プロジェクトに位置付けた施策として、コミュニティバス運行の効率化と利便性向上を図るため、路線の再編とダイヤ改正をはじめ、乗継拠点における待合環境の充実やバス停時刻表の改善、全体マップの作成を行った。						
(2) コミュニティバス・デマンドタクシー運行の見直し			検討・順次実施				
取組状況	コミュニティバス等再編プランに基づき、コミュニティバス路線の再編とダイヤ改正を行い運行の効率化と利便性向上を図った。また、令和4年4月からのデマンドタクシーの運行エリア見直しに向け、利用者等への周知や代替移動手段の案内を行った。						
(3) 地域の実情・特性に応じた地域交通の導入			検討・実証実験		順次実施		
取組状況	地域が主体となっていく、高齢者等の日常生活に必要な近距離移動の手段を確保する取組を支援する「地域あいのり移動支援実証事業」を行った。(実施地域振興会数：1地域振興会、利用登録者数：13人)						
今後の取組	デマンドタクシーの運行エリア見直しをはじめ、地域あいのり移動支援実証事業を複数の地域振興会で実施するなど、射水市地域公共交通網形成計画に掲げる施策を実施し、引き続き、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの形成に取り組む。						
収支改善額			千円				
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○サービスの向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標に掲げた項目の実績値が増額となった。			

番号	35	取組名	在宅福祉介護手当・在宅要介護高齢者福祉金 の見直し		担 当 課	地域福祉課	
					進捗状況	順調	
取組 内容	在宅福祉介護手当（市単・所得制限なし）と在宅要介護高齢者福祉金（県単・所得制限あり） について、併給制限の導入又はいずれかの廃止を検討する。 ・介護手当のみ：富山、高岡 ・福祉金のみ：砺波、黒部、南砺 ・併給制限（福祉金優先）：氷見、小矢部 ・併給：射水、魚津、滑川（ただし、魚津市の介護手当は所得制限あり）						
数値 目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
(1) 併給制限の導入又はいずれかの廃止			検討			見直し	
取組 状況	福祉金については、令和４年９月３０日をもって廃止し、同年１０月１日から介護手当を現行の 月額２,５００円から５,０００円に増額を図ることとした（令和４年３月市議会定例会において、射水 市在宅福祉介護手当支給条例の一部を改正する条例案可決）。						
今後の 取組	令和４年１０月からの見直しの円滑な実施に向け、現在の受給者などへの周知に努める。						
収支改善額				千円			
狙う 効果	○公平性・公正性の確保 ○透明性の確保・市民への説明責任		備考				

番号	36	取組名	おむつ支給事業の見直し			担 当 課	地域福祉課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	これまでの利用実績を考慮し、令和4年度から支給限度額の見直し及び対象者の見直しを行う。						
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	—	—	—	—	—	—	
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
(1) 支給限度額・対象者の見直し		一部見直し(済)		検討	見直し		
取組状況	受益者負担の適正化及び経費の節減のため、支給対象者の見直しを行い令和4年度から適用する。						
(2) 事務の簡略化を図る		見直し(済)		検討	見直し		
取組状況	支給台帳の入力にRPAを導入し、正確性の確保と事務の簡略化を行った。						
今後の取組	更なる受益者負担の適正化及び経費の節減を図るため、支給限度額の見直しを行う。						
収支改善額			千円				
狙う効果	○経費の節減 ○事務効率の向上 ○業務量の低減	備考					

番号	37	取組名	地域ふれあいサロン事業の見直し			担 当 課	地域福祉課
						進捗状況	順調
取組内容	「地域支え合いネットワーク事業」との連携に向け、新湊地域を補助金申請等の統合に係る準備モデル地域に選定、検証し、全市で実施する。						
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	地域支え合いネットワーク事業と連携した地域ふれあいサロンの割合 ※令和3年度末 134 グループ	%	0	36.6	100	36.6%	
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
(1) 地域ふれあいサロンと地域支え合いネットワーク事業との連携		検討			見直し		
取組状況	全市域での「地域ふれあいサロン」に係る補助金申請等の統合実施に向け、新湊地域を準備モデル地域に選定し、各地区社会福祉協議会での取りまとめを実施、検証した。						
今後の取組	令和4年度に全市域の地区社会福祉協議会へ「地域ふれあいサロン」の補助金申請等の取りまとめを依頼、実施し、令和5年度に「地域支え合いネットワーク事業」の補助金に包含、連携していく。						
収支改善額			千円				
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○市民協働の推進	備考					

番号	38	取組名	射水市観光協会の機能強化			担当課	観光・定住課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	令和2年8月1日から射水市観光交流センター（クロスベイ新湊）へ事務所を移転、職員を5人体制へ1名増員し、同居する射水ケーブルネットワーク、射水商工会議所との緊密な連携を図ることで、情報発信を充実させ観光客の利便性の向上を図る。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	射水市観光客入込数(市全体の目標)		人	4,096,458	2,510,739	4,400,000	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 射水市観光協会の機能強化			継続して実施				
取組状況	令和2年度に引き続き、ツアーに一定額以上の市内消費を組み入れた場合、旅行会社に支援する「Welcome to Imizu」事業を実施し、市内への誘客に努めた。また、市内旅行事業者等が造成する「射水市ならではの」旅プランに支援した。						
今後の取組	「Welcome to Imizu」事業が好評であることから、支援額を見直して引き続き実施する。また、観光協会で作成しているパンフレット等を見直し、新たに冊子状のパンフレットの作成に取り組む。さらに、観光協会と市観光部局で人事交流を行い、連携強化を図り、観光協会の更なる機能強化に引き続き取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○地域の活性化・魅力向上 ○サービスの向上 ○職員の能力・組織力の向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標に掲げた項目の実績値が減少した。			

番号	39	取組名	観光イベントの見直し		担当課	観光・定住課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	ICT等を活用し来場者の実態把握に努めながら、関係機関・団体と協議し、経済的な波及効果も踏まえてイベントの在り方やタイアップを含めて効果的・効率的な開催を検討する。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
開催状況	イベント名		開始年度	H30 入込数	R03 入込数	伸率	事務局
	越中だいもん風まつり		昭和 54	55,000 人	—	—	観光・定住課内
	富山新港花火大会		昭和 40	57,000 人	—	—	観光・定住課内
	新湊カニかに海鮮白えびまつり		平成 21	50,000 人	—	—	射水市観光協会
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 観光イベントの見直し			見直し				
取組状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、越中だいもん風まつり他イベントを中止した。 新湊カニかに海鮮白えびまつりについては、代替イベントを実施し、次年度以降の内容の見直しについて関係者に意見聴取した。						
今後の取組	各観光イベントの開催方法、在り方について、引き続き、各実行委員会で協議していく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上		備考				

番号	40	取組名	除雪業務の効率化の推進【R3新規】		担 当 課	道路課
					進捗状況	順調
取組内容	県が実施している除雪のグループ化（※）を射水市においても導入し、県と合わせ業者判断による効率的な除雪を図る。 ※県は、射水市を北側と南側に分け、共同企業体による除雪作業を行っており、パトロールや除雪出動の判断を含めた業務委託を実施					
数値目標	項 目 名	単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—	—	—	—	—	—
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 問題・課題の整理、グループ化に向けた業者聞き取り				検討		
取組状況	契約内容などグループ化の現状等について県に聞き取りを行うとともに、県やグループ業者との連携や手順等についてグループ化の代表業者に聞き取りを行った。 連絡体制や代表業者への費用負担等、県と業者への聞き取りから想定される問題や課題を取りまとめた。					
(2) 連絡体制の確立、幹線道路の抽出、グループ化業者説明会、試験運用				検討	試行	
取組状況						
(3) 幹線道路除雪グループ化の実施						実施
取組状況						
今後の取組	令和3年度に取りまとめた問題や課題について代表業者等と協議を行い、試験運用に向けて取り組む。					
収支改善額			千円			
狙う効果	○事務効率の向上	備考				

取組項目

② 公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化

番号	41	取組名	円滑な財政運営に向けた基金の積立及び市債の繰上償還			担 当 課	財政課
						進捗状況	順調
取組内容	後年度における円滑な財政運営に向け、計画的な基金への積立及び市債の繰上償還を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 基金への積立及び市債の繰上償還			継続して実施				
取組状況	一般会計において、決算上剰余金等を活用し、減債基金など計1,237,516千円の積立を行った。						
今後の取組	引き続き、計画的な基金への積立及び市債の繰上償還に努める。						
市債繰上償還による利子負担軽減額 (後年度の負担軽減額)			2,490 千円 (R01)				
			0 千円 (R02)				
			0 千円 (R03)				
			2,490 千円 (累計)				
狙う効果	○財政・経営の健全化		備考				

番号	42	取組名	公共施設マネジメントの推進			担 当 課	資産経営課
						進捗状況	順調
取組内容	公共施設等総合管理計画の見直しや個別施設計画の進捗管理を行いながら、公共施設マネジメントを着実に推進していく。						
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	—	—	—	—	—	—	
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
(1) 再編方針（案）の市民への周知		周知(済)					
取組状況							
(2) 個別施設計画の策定		検討(済)	策定(済)				
取組状況							
(3) 公共施設等総合管理計画の見直し				見直し(済)			
取組状況	計画の進捗状況やこれまでの取組の効果等を踏まえ、国の指針に基づき、改訂予定年度を3年前倒しして計画の改訂（時点修正）を行った。（有形固定資産減価償却率、維持管理経費等を新たに記載）						
(4) 既存の公共資産の有効活用		随時検討・実施					
取組状況	公共施設マネジメントの推進や未利用市有地の有効活用に向け、民間事業者のアイデアやノウハウを取り入れるための随意契約保証型民間提案制度の導入について検討を行った。						
今後の取組	令和4年度中に公共施設及び未利用市有地に関する民間提案制度を導入する。						
収支改善額（経費の削減）		12,948 千円	(R01)	(生涯学習センター、新湊中央ふれあいサロン、大島憩いのサロン、新湊保育園、新湊西部保育園)			
		8,751 千円	(R02)	(小杉ふれあいセンター)			
		0 千円	(R03)				
		21,699 千円	(累計)				
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上 ○サービスの向上		備考				

番号	43	取組名	公共施設の包括管理業務委託の導入検討		担 当 課	資産経営課
					進捗状況	順調
取組内容	こうした課題に対応し、市の公共施設全体を俯瞰した適切な維持管理と予防保全に基づく更なる長寿命化を実現するため、全国で導入が進んでいる公共施設の包括管理業務委託について、サウンディング型市場調査を行うなど、導入に向けた検討を行う。					
数値目標	項 目 名	単位	当初(R01)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—	—	—	—	—	—
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 導入の検討						
取組状況	7 月以降サウンディング型市場調査を実施し、導入に向けた課題や対象施設・業務の範囲、民間事業者の参加意向等を把握した上で、11 月に公募型プロポーザルを実施し委託事業者を選定した。(令和4年4月から業務開始)					
今後の取組	包括管理業務を着実に実施しつつ、現在、包括管理の対象外としている施設（指定管理施設等）を包括管理の対象とするかどうか、指定管理者の意向を確認しながら方向性を見出していく。					
収支改善額			千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○業務量の低減	備考				

番号	44	取組名	芸術文化施設の再編の検討		担 当 課	市民活躍・文化課	
					進捗状況	順調	
取組内容	「射水市公共施設再編方針」(令和2年3月公表)に基づき、芸術文化施設の今後の集約の方向性を令和5年度末までに決定する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態
	新湊中央文化会館		昭和 56	97,348 人	59,434 人	▲38.9%	指定管理
	小杉文化ホール		平成 5	79,996 人	27,892 人	▲65.1%	指定管理
	大門総合会館		昭和 62	55,518 人	32,690 人	▲41.1%	指定管理
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 各施設の方向性の決定			検討				方針決定
取組状況	「射水市文化振興・文化施設在り方検討会」における検討に当たり、文化施設利用者アンケートを行い、各施設の利用の傾向等について調査した。						
(2) 文化振興・文化施設在り方検討会			実施(済)				
取組状況	外部有識者で構成する「射水市文化振興・文化施設在り方検討会」を開催し、望ましい文化振興と文化振興を実現する場である文化施設の在り方について意見を聴取した。						
今後の取組	令和4年度は、「射水市文化振興・文化施設在り方検討会」で得られた意見を参考に、庁内検討組織を設置して文化施設の再編の方向性を検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。			

番号	45	取組名	最終処分場の整備		担 当 課	環境課	
					進捗状況	順調	
取組内容	将来の搬入量減少と施設のライフサイクルコストの削減を考慮した最終処分場整備計画等を令和4年度末までに策定し、最終処分場整備実施設計着手のため、整備手法の方針を決定する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 最終処分場整備方針の検討・整備計画書の策定・環境影響調査、実施設計			検討(済)		計画策定	整備計画書の策定	調査・設計
取組状況	ごみ処理施策の最上位となる「循環型社会形成推進地域計画」を策定した。						
今後の取組	地域の理解を得られるよう配慮しながら、整備計画書（最終処分場基本計画）の策定に取り組み、事業化の準備を進める。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上		備考				

番号	46	取組名	衛生センターの整備		担 当 課	環境課	
					進捗状況	順調	
取組内容	衛生センター整備工事着手のため、整備手法の方針を令和2年度末までに決定し、衛生センター整備計画を令和3年度中に策定する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 処理量	R03 処理量	伸率	管理形態
	衛生センター		昭和 62	8,659 kℓ	7,706 kℓ	▲11.0%	市直営
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 衛生センター整備方針の検討・整備計画書策定・工事			検討(済)		整備計画書の策定	発注仕様書作成	実施
取組状況	整備計画書（射水市衛生センター長寿命化総合計画）を策定した。						
今後の取組	令和5年度の工事着手に向けて発注仕様書を作成する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上		備考				

番号	47	取組名	クリーンピア射水の長寿命化		担 当 課	環境課	
					進捗状況	完了（令和3年度）	
取組内容	クリーンピア射水長寿命化総合計画に基づき、令和4年3月の工事完了に向け進捗を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 処理量	R03 処理量	伸率	管理形態
	クリーンピア射水		平成 14	27,568 t	27,830 t	1.0%	長期包括運営業務委託
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) クリーンピア射水基幹的設備改良工事			実施				
取組状況	クリーンピア射水基幹的設備改良工事が完了した。						
今後の取組							
収支改善額（独自財源の確保）			№60「有料広告収入等の独自財源の確保及び民間活力を活用した事業の推進」の内数 (4,916 千円) (R02)				
狙う効果	○費用対効果の向上		備考	基幹的設備の改良（延命化工事）により、維持管理費の削減及び環境負荷の低減につなげた。			

番号	48	取組名	小杉ふれあいセンターの廃止（民間事業者による跡地利活用）		担 当 課	地域福祉課	
					進捗状況	完了（令和3年度）	
取組内容	令和2年度は、民間事業者を公募し、同年度末に廃止する（令和2年度実施済）。 令和3年度は、小杉ふれあいセンターの解体工事を実施し、同センターの跡地を民間事業者に売却する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 小杉ふれあいセンターの廃止（民間事業者による跡地利活用）				事業者選定済	廃止・解体		
取組状況	小杉ふれあいセンター解体工事の完了後、同センターの跡地を社会福祉法人小杉福祉会に売却した。						
今後の取組							
収支改善額（経費の削減）			（ 8,751 千円）（R02） №42「公共施設マネジメントの推進」の内数				
土地売却収入			（ 122,400 千円）（R03） №61「未利用市有地の売却」の内数				
狙う効果	○経費の節減 ○地域の活性化・魅力向上 ○財政・経営の健全化		備考	施設の廃止による経費の節減に加え、当該敷地の売却収入を得ることができたほか、民間活力の導入による今後の地域の活性化につなげた。			

番号	49	取組名	市立保育園の在り方の検討		担 当 課	子育て支援課
					進捗状況	順調
取組内容	民営化方針に基づき、他の保育園、幼稚園との統廃合を含めた民営化を基本として、施設の存続の在り方等の協議を進める。協議が整えば、統廃合を含めた民営化を実施する。					
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	市立保育園数	園	13	11	10	66.7%
施設状況	施 設 名	建設年度	H30 園児数	R03 園児数	伸率	管理形態
	放生津保育園	昭和 56	63 人	59 人	▲6.3%	市直営
	八幡保育園	昭和 50	32 人	25 人	▲21.9%	市直営
	新湊保育園	昭和 54	53 人	—	—	令和2年度から民営化
	新湊西部保育園	昭和 52	16 人	—	—	
	片口保育園	昭和 51	145 人	123 人	▲15.2%	市直営
	塚原保育園	昭和 51	101 人	101 人	0.0%	市直営
	金山保育園	昭和 59	51 人	46 人	▲9.8%	市直営
	大江保育園	昭和 60	98 人	101 人	3.1%	市直営
	千成保育園	昭和 48	120 人	112 人	▲6.7%	市直営
	池多保育園	昭和 52	61 人	61 人	0.0%	市直営
	大門きらら保育園	平成 11	274 人	284 人	3.6%	市直営
	大島南部保育園	平成 8	83 人	84 人	1.2%	市直営
	下村保育園	平成 6	82 人	67 人	▲18.3%	市直営
取組スケジュール		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 在り方の見直し		協議が整った保育園から統廃合を含めた民営化を実施				
取組状況	八幡保育園について、施設の統廃合を含めた民営化を検討する要件に該当するため、今後の在り方について、地域部会を設置した。					
今後の取組	引き続き、民営化方針に基づき、施設の存続の在り方等の協議を進める。					
収支改善額（経費の削減）		（ 6,522 千円）（R01）		№42「公共施設マネジメントの推進」の内数		
狙う効果	○経費の節減 ○財政・経営の健全化 ○サービスの向上		備考			

番号	50	取組名	市立幼稚園の在り方の検討		担 当 課	子育て支援課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	民営化方針に基づき、他の保育園との統廃合を含めた民営化を基本として、施設の存続の在り方等の協議を進める。協議が整えば、統廃合を含めた民営化を実施する。(大門わかば幼稚園については、令和2年4月に認定こども園に移行)						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 園児数	R03 園児数	伸率	管理形態
	七美幼稚園		昭和 54	21 人	15 人	▲28.6%	市直営
	大門わかば幼稚園		平成 17	70 人	65 人	▲7.1%	市直営
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 在り方の見直し			統廃合や民営化を検討				
取組状況	七美幼稚園の在り方を検討するための地域部会を開催した。また、利用保護者との意見交換会を企画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け延期となった。						
今後の取組	七美幼稚園の利用保護者意見交換会を開催し、意見等を聴取した後、子ども・子育て会議地域部会にて施設存続の在り方等についての協議を進める。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○サービスの向上		備考				

番号	51	取組名	市立児童館機能の移行		担 当 課	子育て支援課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	個別施設計画に基づき、施設ごとの今後の在り方について関係機関と協議・調整を行い、児童館機能を移行する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態
	海老江児童センター		昭和 54	5,331 人	5,331 人	0.0%	市直営
	太閤山児童館		平成 17	4,785 人	3,084 人	▲35.5%	市直営
	大島児童館		平成 3	12,853 人	10,899 人	▲15.2%	市直営
	下村児童館（下村交流センター内）		平成 15	17,555 人	6,806 人	▲61.2%	市直営
	大門児童館 （子ども子育て総合支援センター内）		昭和 57	10,070 人	5,461 人	▲45.8%	市直営
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 児童館機能の移行			検討				
取組状況	施設ごとの利用状況について確認した。						
今後の取組	個別施設計画に基づき、施設ごとの今後の在り方について関係機関と協議・調整を行う。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○財政・経営の健全化 ○市民協働の推進 ○サービスの向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。			

番号	52	取組名	道の駅新湊のリフレッシュ		担 当 課	観光・定住課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	個別施設計画を策定し、主要幹線が結接する立地条件を生かし、魅力向上につながる大規模改修に取り組み、併せて、市の特産物の品揃えを充実するなど満足度の高いサービスを提供する。 また、新湊博物館や新湊農村環境改善センター等も含めたゾーンとして、「ひと・物・情報の交わる場」へ誘うエリアとなるよう環境整備や魅力づくりを検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	道の駅利用者		人	702,114	540,996	730,000	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 個別施設計画の策定・実施設計・改修工事			検討(済)	計画策定(済)	エリア構想策定	基本設計・実施設計	
取組状況	道の駅新湊と隣接する新湊農村環境改善センター及び新湊博物館を含めたエリアの今後の基本的な方針を整理するため、「射水市道の駅周辺エリア基本構想」を令和3年10月に策定した。						
(2) 周辺整備や魅力づくりの検討			検討				
取組状況	「射水市道の駅周辺エリア基本構想」で示した今後の方針に基づき、周辺エリアの魅力向上やにぎわいの創出に向けて検討を進めた。						
今後の取組	「射水市道の駅周辺エリア基本構想」の具現化に向け、民間活力の導入を図るため、サウンディング型市場調査や事業者公募を行い、エリアの環境整備や魅力づくりを進めていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○サービスの向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標に掲げた項目の実績値が減少した。			

番号	53	取組名	農村環境改善センターの在り方の検討		担 当 課	農林水産課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	今後、老朽化による修繕費の増加が見込まれることを踏まえ、農村環境改善センターと同じく貸室機能を有している施設との統廃合を含めた在り方を検討し、その方針をまとめる。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態
	新湊農村環境改善センター		平成 8	21,938 人	11,768 人	▲46.4%	指定管理
	大門農村環境改善センター		平成元	6,560 人	4,719 人	▲27.0%	指定管理
	大島農村環境改善センター		平成 10	19,810 人	12,878 人	▲35.0%	指定管理
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 在り方の検討			検討				方針決定
取組状況	農業団体の使用比率、利用者数などの施設の利用状況及び利用者アンケートによる利用者ニーズの把握に努めた。						
今後の取組	引き続き、施設の利用状況を把握していくとともに、個別施設計画に基づき検討していく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減 ○地域の活性化・魅力向上 ○サービスの向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。			

番号	54	取組名	大門コミュニティセントリーの在り方の検討		担当課	農林水産課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	施設の利用状況を把握していくとともに、提供すべきサービス・施設機能の在り方について、廃止や民間事業者の活用も含め検討し、その方針をまとめる。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施設名		建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態
	大門コミュニティセントリー		昭和 62	47,275 人	37,720 人	▲20.2%	指定管理
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 在り方の検討			検討				方針決定
取組状況	施設の利用状況及び利用者アンケートによる利用者ニーズの把握に努めた。						
今後の取組	引き続き地域や利用者へのアンケート等によりニーズの把握に努める。また、民間事業者へ施設の活用手法に関するサウンディング型市場調査の実施を検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。			

番号	55	取組名	小学校の在り方の検討		担 当 課	学校教育課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	小中学校の配置・運営に対する国の動向を踏まえ、小学校の現状と課題等について整理し、検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 児童数	R03 児童数	伸率	管理形態
	放生津小学校		平成元	159 人	116 人	▲27.0%	市直営
	新湊小学校		平成3	292 人	240 人	▲17.8%	市直営
	作道小学校		昭和56	310 人	334 人	7.7%	市直営
	片口小学校		昭和59	235 人	197 人	▲16.2%	市直営
	堀岡小学校		平成14	138 人	128 人	▲7.2%	市直営
	東明小学校		昭和47	288 人	274 人	▲4.9%	市直営
	塚原小学校		昭和55	157 人	135 人	▲14.0%	市直営
	小杉小学校		昭和45	574 人	611 人	6.4%	市直営
	金山小学校		昭和50	61 人	60 人	▲1.6%	市直営
	歌の森小学校		昭和57	427 人	440 人	3.0%	市直営
	太閤山小学校		平成17	400 人	358 人	▲10.5%	市直営
	中太閤山小学校		昭和52	317 人	310 人	▲2.2%	市直営
	大門小学校		平成17	803 人	696 人	▲13.3%	市直営
	下村小学校		昭和45	86 人	70 人	▲18.6%	市直営
	大島小学校		昭和51	693 人	623 人	▲10.1%	市直営
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 在り方の検討（放生津小学校・新湊小学校）			検討				方針決定
取組状況	子ども達の望ましい教育環境を確保するため、地域住民、両校児童や未就学児童の保護者を対象とした「学校の在り方説明会」を開催した。また、説明会資料を地域に全戸配布し、内容について周知を図った。						
今後の取組	引き続き、地域や保護者と課題を共有し、理解を得ながら、協議を進める。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上		備考				

番号	56	取組名	図書館の在り方の検討		担当課	生涯学習・スポーツ課	
					進捗状況	順調	
取組内容	中央図書館と新湊図書館による２館（１本館１分館）体制とし、集約化を進める。 なお、正力図書館は、大門総合会館の在り方を踏まえながら、下村図書館は、地域と協議を行いながら、令和５年度までに転用などの方針を決定する。						
数値目標	項目名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	—	—	—	—	—	—	
施設状況	施設名	建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態	
	中央図書館	平成 12	60,942 人	57,385 人	▲5.8%	市直営	
	新湊図書館（新湊中央文化会館内）	昭和 56	24,483 人	19,599 人	▲19.9%	市直営	
	正力図書館（大門総合会館内）	昭和 62	16,012 人	13,185 人	▲17.7%	市直営	
	下村図書館（下村交流センター内）	平成 15	15,911 人	11,844 人	▲25.6%	市直営	
取組スケジュール		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	
(1)（廃止・統合する）図書館の在り方の検討		検討				方針決定	
取組状況	個別施設計画で示した将来的に廃止する２館について検討を進めた。						
今後の取組	個別施設計画に基づき検討していく。また、図書館窓口等の民間委託について調査研究する。						
収支改善額			千円				
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上	備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。				

番号	57	取組名	主要体育館の在り方の検討		担 当 課	生涯学習・スポーツ課	
					進捗状況	順調	
取組内容	廃止を予定している、小杉体育館、大門総合体育館、大島体育館、下村体育館については、民間への譲渡を前提としつつ、地域に開放されたサービス提供の可能性を検討し、譲渡が困難な場合には解体も含めて検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態
	新湊総合体育館		昭和 61	120,305 人	88,762 人	▲26.2%	指定管理
	小杉総合体育センター		平成 4	96,598 人	42,013 人	▲56.5%	指定管理
	小杉体育館		昭和 56	106,044 人	74,578 人	▲29.7%	指定管理
	大門総合体育館		昭和 57	89,078 人	66,693 人	▲25.1%	指定管理
	大島体育館		平成 12	87,741 人	63,545 人	▲27.6%	指定管理
	下村体育館		昭和 60	16,501 人	12,280 人	▲25.6%	指定管理
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) サービスの提供が継続できる手法についての検討。併せて、主要体育館を拠点型 2 館体制とするための整備基本構想の策定			検討				
取組状況	民間活力による新たな施設運営手法の導入など、トータルコストの削減につながる様々な可能性について検討を行った。						
今後の取組	令和 5 年度以降の休日学校部活動の段階的地域移行の考え方を踏まえつつ、他施設への機能集約や民間参入の可能性の調査・検討を進める。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。			

番号	58	取組名	地区体育館機能の移行		担 当 課	生涯学習・スポーツ課	
					進捗状況	遅延	
取組内容	七美体育館は、建築から 35 年以上経過し、建物、設備ともに老朽化が進んでいることから、令和 3 年度末を目途に廃止し、併せて、近隣施設の活用について検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
施設状況	施 設 名		建設年度	H30 利用人数	R03 利用人数	伸率	管理形態
	七美体育館		昭和 57	4,281 人	2,016 人	▲52.9%	市民協働
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 七美体育館の機能移転の検討			検討			廃止	
取組状況	利用状況と施設の状況を確認。近隣施設の活用について、検討を行った。						
今後の取組	七美体育館は、建築から 35 年以上経過し、建物、設備ともに老朽化が進んでいることから、令和 4 年度末を目途に廃止し、合わせて近隣施設の活用について検討を行う。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○業務量の低減		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数が減少した。 令和 3 年度末を目途に廃止できなかったため、令和 3 年度改訂版の取組スケジュールから変更有り。			

取組項目 ③ 自主財源の確保及び創出

番号	59	取組名	企業版ふるさと納税制度の活用【R3新規】		担 当 課	政策推進課	
					進捗状況	順調	
取組内容	企業版ふるさと納税制度の活用ができる事業を検討し、積極的に活用していくため、企業に対して市のホームページ等で税制上のメリットなどの周知に努める。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) ホームページ等でのPR・企業への周知					随時実施		
取組状況	国の「企業版ふるさと納税ポータルサイト」や市ホームページに寄附募集事業を掲載したほか、内閣府の「企業と地方公共団体とのマッチング会」にも参加し、市の取組をPRした。 また、首都圏や北陸新幹線沿線の県外企業に向けた企業立地パンフレットの送付（約1,000社）に合わせて、企業版ふるさと納税募集チラシを同封したほか、市内外企業（約1,300社）にダイレクトメールを送付するなど企業版ふるさと納税制度の周知に努めた。（令和3年度企業版ふるさと納税件数 14件）						
今後の取組	市外企業とのマッチング機会を捉えながらPRに努める。						
企業版ふるさと納税寄附額			2,000 千円 (R01)				
			18,000 千円 (R02)				
			65,700 千円 (R03)				
			85,700 千円 (累計)				
狙う効果	○財政・経営の健全化		備考				

番号	60	取組名	有料広告収入等の独自財源の確保及び民間活力を活用した事業の推進		担当課	財政課
					進捗状況	順調
取組内容	新たな有料広告等の獲得に努めるとともに、既存の広告媒体の継続に努める。 また、民間活力を活用し、市民サービスの向上につながる事業に積極的に取り組む					
数値目標	項目名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—	—	—	—	—	—
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 有料広告収入等独自財源の確保		継続して実施				
取組状況	独自財源の確保に向け、既存の有料広告媒体の継続実施、新たなネーミングライツの獲得に努めた。					
(2) 民間活力を活用した事業の推進		継続して実施				
取組状況	フットボールセンターの管理運営業務や公共施設包括管理業務委託等について公募型プロポーザルを実施するなど、民間活力を導入した。					
今後の取組	引き続き、先進自治体の事例等も参考に積極的な取組に努める。					
収支改善額（独自財源の確保）		13,789 千円		(R01)		
		14,962 千円		(R02)		
		8,179 千円		(R03)		
		36,930 千円		(累計)		
狙う効果	○経費の削減 ○財政・経営の健全化		備考			

番号	61	取組名	未利用市有地の売却		担 当 課	資産経営課	
					進捗状況	順調	
取組内容	売却可能となった物件を着実に売却し、財源の確保に努める。併せて、人口流出の抑制など、本市の課題解決に資する未利用市有地の活用に取り組む。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	普通財産(市有地)売却累計額 ※法定外公共物を除く		千円	—	360,211	175,000	205.8%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 売却のための条件整備			継続して実施				
取組状況	地盤調査や地中埋設物調査、土壌調査等、個別案件に応じて必要な調査を実施した。また、地中埋設物撤去工事等を実施し、売却に向けて必要な条件整備を行った。						
(2) 未利用市有地の売却			継続して実施				
取組状況	市広報やホームページの活用のほか、宅建協会や全日本不動産協会に依頼し、一般競争入札実施の周知を図ったほか、民間事業者とのサウンディングを行うなどし、計 11 物件の売却につなげた。						
今後の取組	売却のための条件整備を進めるとともに、民間提案制度や民間事業者へのサウンディング調査を実施し、未利用市有地の売却を促進する。						
土地売却収入			97,237 千円 (R01)				
			0 千円 (R02)				
			262,974 千円 (R03)				
			360,211 千円 (累計)				
狙う効果	○財政・経営の健全化 ○サービスの向上		備考				

番号	62	取組名	自動販売機設置業者選定における入札制度の導入等		担 当 課	資産経営課	
					進捗状況	順調	
取組内容	令和元年度から売上げ実績に応じた入札制度を段階的に導入し、歳入の確保に努める。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	入札制度実施による自動販売機設置施設累計数		施設	0	4	5	80.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 要綱・各種様式の整備			検討(済)	運用			
取組状況	先進自治体等における導入事例や各種要綱等の情報収集に努め、調査研究を進めた。						
(2) 入札制度の導入			検討(済)	段階的に導入			
取組状況	斎場及びフラワーパーク沖塚原において、自動販売機の設置業者の売上げに応じた使用料率により、選定を行った。						
今後の取組	引き続き、公募型の業者選定が行われるよう庁内において周知を図る。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○財政・経営の健全化		備考				

番号	63	取組名	多様な納付環境の整備			担 当 課	収納対策課
						進捗状況	完了（令和3年度）
取組内容	市税におけるスマホ決済について、令和2年度から各種電子マネー決済を追加し、多様な納付環境の拡充を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	スマホ決済		取扱件数	—	13,978	6,000	233.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) スマホ決済サービス（追加・拡充）			検討(済)	導入			
取組状況	市ホームページ上での周知や、納税通知書にチラシを同封するなどし、令和2年度に導入した市税スマホ決済サービスのPRに努めた。						
今後の取組							
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上 ○公平性・公正性の確保 ○サービスの向上		備考	スマホ決済（電子マネー）による納付件数が、令和2年度導入時実績の5,469件から急増し、市税納付の利便性が向上した。			

番号	64	取組名	サテライトオフィス等の設置推進【R3新規】		担 当 課	商工企業立地課	
					進捗状況	順調	
取組内容	企業がサテライトオフィス等を設置する際の支援制度を検討し、積極的に企業誘致を進める。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	サテライトオフィス等の設置数		箇所	—	0	3	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 支援制度の検討・制度の策定・実施					検討・策定・実施		
取組状況	令和4年度から適用する射水市サテライトオフィス等開設支援事業補助金制度を創設した。						
(2) サテライトオフィス等の誘致					誘致		
取組状況	県が主催する誘致プロジェクトに参加し、セミナー参加や県外企業と面談を行った。						
今後の取組	今後、企業誘致の取組と併せて、サテライトオフィスの誘致に取り組んでいく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○財政・経営の健全化		備考				

番号	65	取組名	新たな企業団地の造成			担 当 課	商工企業立地課
						進捗状況	順調
取組内容	企業進出を確保するため造成工事に取り組むとともに、本市の地理的優位性、交通の利便性及び企業立地助成制度等をPRし、積極的に優良企業の誘致を進める。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	新たな企業団地の分譲率		%	—	—	100	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 許認可手続・調査・実施設計			実施(済)				
取組状況							
(2) 造成工事			検討(済)	実施		分譲開始	
取組状況	実施主体である射水市土地開発公社において、令和5年4月の分譲開始を目指し造成工事（盛土）を行った。 また、污水管敷設工事・配水管敷設工事・道路改良工事等に着手した。						
(3) 企業誘致			実施				
取組状況	企業用地の情報を広く周知することに重点を置き、これまで関係がなかったゼネコンや県外で強力な営業基盤を持つ地方銀行等を対象に企業誘致活動を行った。						
今後の取組	令和5年4月の分譲開始から早期に売売できるよう、引き続き、精力的に企業誘致を進めていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○財政・経営の健全化		備考				

番号	66	取組名	魅力ある企業立地助成金制度への工夫		担 当 課	商工企業立地課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	企業ニーズや社会情勢等に応じた企業立地助成金制度の検討を行い、企業が活用しやすい企業立地助成金制度への見直しなどを随時行い、市内へ県内外の優良企業の誘致を推進する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	市内既存企業団地分譲率		%	97.6	97.6	100	%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 制度の検討・見直し			随時実施				
取組状況	企業の新規雇用状況の把握に努め、企業立地助成金の要件緩和等の検討を行った。併せて、未分譲の企業用地の売却に向けて、企業誘致活動に努めた。						
今後の取組	本市にとって魅力ある企業・業種を見極め、新たな企業立地助成制度の構築に取り組む。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上 ○財政・経営の健全化		備考				

番号	67	取組名	創業支援等事業計画の推進			担当課	商工企業立地課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	商工会議所、商工会の認定創業支援機関と、市内金融機関、日本政策金融公庫等の創業支援関係機関と連携し、創業希望者への情報提供、専門家派遣、創業塾（創業セミナー）、窓口相談等の支援を促進し継続的に取り組む。						
数値目標	項目名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	創業支援事業補助金利用件数(年間)	件	13	13	19	0.0%	
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
(1) 特定創業等支援事業の実施（創業塾等の開催）		継続実施					
取組状況	商工団体が主催する創業塾の受講者数は延べ58人（前年比▲3人）、創業支援補助金の利用件数は13件（前年比+1件）とほぼ横ばいであるが、創業に係る相談は依然としてあることから、引き続き創業に対する支援が必要である。						
(2) 創業機運醸成事業の実施		検討(済)	実施				
取組状況	令和3年度に新たに設立した「ほくりく創業支援ネットワーク」を活用し、県内外の自治体及び支援機関と情報交換を行い、創業機運醸成事業に関する取組事例等を共有した。						
今後の取組	創業支援事業補助金は認知度も高く、コロナ禍においても交付件数は維持されているが、今後は、創業者と廃業者を事業承継によりつなぐ取組も検討する。						
収支改善額			千円				
狙う効果	○地域の活性化・魅力向上		備考				

取組項目

④ 公営企業の経営健全化

番号	68	取組名	官民連携による水道事業の運営基盤強化		担 当 課	上下水道業務課	
					進捗状況	順調	
取組内容	令和元年 10 月から包括業務委託を開始し、専門知識・技術の継承と業務の効率化を図り、安定した高水準のサービス提供に努めている。 また、業務の履行状況を常にモニタリングし、中間評価を実施した上で、第 2 期委託の仕様等を策定し、更なるサービス向上と事業運営基盤の強化を目指す。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	経費節減額（累計）		千円	—	24,924	43,560	57.2%
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 包括業務委託の実施			準備済 → 業務の履行及び改善				
取組状況	受託事業者からの提案を採用した業務の見直し等を行い、経費の縮減や業務の効率化を図り、使用者サービスの向上を図った。						
(2) 包括業務委託の検証			モニタリング → 中間評価 → モニタリング				
取組状況	受託事業者の業務及び再委託業務の状況について独自監査を実施し、指摘要望事項を通知した。						
(3) 第 2 期包括業務委託の準備			検討 → 業者選定				
取組状況	広域連携について協議、検討を行い、業務手法等を確認し、統一可能な項目を抽出した。						
今後の取組	独自監査結果を踏まえ、課題を整理し、改善に向けて受託事業者とともに協議していく。また、第 2 期委託に向けては、広域連携も視野に入れ、令和 4 年度中に仕様書案を作成する。						
収支改善額（経費の削減）			6,234 千円 (R01)				
			9,372 千円 (R02)				
			9,318 千円 (R03)				
			24,924 千円 (累計)				
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○事務効率の向上 ○業務量の低減 ○サービスの向上 ○職員の能力・組織力の向上		備考				

番号	69	取組名	水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営		担 当 課	上下水道業務課	
					進捗状況	順調	
取組内容	令和元年 10 月から包括業務委託を開始し、官民連携による運営基盤強化に努めており、将来へ持続可能な水道事業とするため、具体的な目標数値や明確なビジョンを掲げた事業計画（令和 2 年度策定）に基づき、健全な事業運営を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R06)	達成率(R03)
	自己資本構成比率 ※総資本に占める自己資本の割合であり財務状況の健全性を表す指標		%	56.5	59.9	59.0	136.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 水道事業ビジョンの見直し・運営 及び検証制度の検討・見直し			策定(済)	運営及び検証			
取組状況	主要施設である鳥越調整池耐震補強等の耐震化と配水管更新を推進するとともに、富山県企業局との協議の結果、令和 4 年度からの受水料金改定を行い、大きな課題である受水費負担の軽減を進捗させた。						
今後の取組	老朽化する基幹管路からの漏水が増加傾向にあることから、長寿命化対策を強化する。また、県企業局からの送水管更新を含め、引き続き、受水費の適正負担についての協議を継続していく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上 ○財政・経営の健全化 ○透明性の確保・市民への説明責任 ○職員の能力・組織力の向上		備考				

番号	70	取組名	下水道事業ビジョンの見直しによる健全な事業運営		担当課	上下水道業務課	
					進捗状況	順調	
取組内容	平成 26 年度に現行の「射水市下水道ビジョン」を策定し現在に至っているが、策定後 5 か年の実績評価を行うとともに今後 10 か年の計画の見直しを行う。 具体的には、平成 30 年度に策定した「雨水管理総合計画」及び「ストックマネジメント計画」を基礎データとするとともに、平成 28 年度に策定した「経営戦略」を見直し、その経営戦略要素を盛り込んだ投資・財政計画をベースに令和 2 年度に新たなビジョンを策定し、健全な事業運営を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R06)	達成率(R03)
	自己資本構成比率 ※総資本に占める自己資本の割合であり財務状況の健全性を表す指標		%	54.2	59.8	60.0	96.6%
取組スケジュール			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) 下水道事業ビジョン等の見直し・運営及び検証制度の検討・見直し			策定 運営及び検証				
取組状況	太閤山処理区の神通川左岸流域下水道への接続に伴い、太閤山浄化センターを令和 3 年 12 月末に廃止した。						
今後の取組	経営状況が厳しくなることが予想される中、汚水処理の最適化のため、農業集落排水処理施設についても流域下水道への接続の具体化について検討する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上 ○財政・経営の健全化 ○透明性の確保・市民への説明責任 ○職員の能力・組織力の向上		備考				

番号	71	取組名	水道事業における配水管渠の耐震化率の向上			担 当 課	上水道工務課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	試験施工を経て規格を見直した後、口径 50 mmの硬質塩化ビニル管を水道配水用ポリエチレン管材料の使用に移行し、耐震化率の向上を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	ポリエチレン管等整備率		%	0	0	2.5	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 試験施工						実施	
取組状況	試験施工実施に向けた施工講習会を開催した。						
(2) 規格導入							導入
取組状況							
今後の取組	令和5年度の規格導入に向け、試験施工を実施する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上		備考	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、施工講習会の開催が年度末になったため、令和3年度改訂版の取組スケジュールから変更有り。			

番号	72	取組名	水道事業における主要施設の長寿命化			担 当 課	上水道工務課
						進捗状況	順調
取組内容	耐震診断及び劣化調査結果を反映し、補強補修工事を行うなど主要施設の長寿命化を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R06)	達成率(R03)
	配水池の耐震化率 ※容量を基に算出		%	2.6	56.3	56.3	100.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 配水池の長寿命化			順次実施				
取組状況	鳥越調整場低区調整池の耐震補強工事を実施した。						
今後の取組	耐震補強した鳥越調整場低区調整池の内面補修工事を実施する。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上		備考				

番号	73	取組名	不明水対策の実施		担 当 課	下水道工務課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	これまで行ってきた老朽管更新事業を引き続き重点的に実施していくとともに、マンホールや取付管など雨水等の浸入水箇所の補修を行い有収率の向上を図る。						
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R06)	達成率(R03)	
	有収率の向上	%	74.0	73.1	76.0	0.0%	
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
(1) 下水道施設の点検		順次実施					
取組状況	有収率の低い地区について、職員による調査及び点検を行い、公共マスや取付管の修繕を実施した。						
(2) 不明水対策の実施		順次実施					
取組状況	下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の改築工事を実施した。						
今後の取組	引き続き、ストックマネジメント計画に基づき、計画的に改築工事を実施していく。また、調査及び点検についても継続し、有収率の向上に努める。						
収支改善額			千円				
狙う効果	○経費の節減 ○費用対効果の向上 ○財政・経営の健全化		備考				

番号	74	取組名	総合的な経営改善策の推進			担 当 課	市民病院経営管理課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	収支改善のために収益増及び費用減の取組を確実に実行することが重要である。そのために、地域包括ケア病棟の効率的な運用や施設基準、指導料等の診療報酬算定の精査と改善に取り組み収益増を図り、院内物流管理システム等を活用した経費削減の推進により費用の削減に取り組んでいく。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	地域包括ケア病棟稼働率		%	68.7	74.6	75.0	93.7%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 地域包括ケア病棟の効率的な運用			継続して実施				
取組状況	急性期病棟からの転棟だけではなく、軽症患者の直接入院や介護施設等からの入院を積極的に行うとともに、効率的な退院調整を行うなど地域包括ケア病棟の有効活用により病床稼働率の向上に努めた。						
(2) 施設基準、指導料等の診療報酬算定の精査と改善			継続して実施				
取組状況	診療報酬改定に伴う施設基準の要件厳格化への対応、見直し等により、収益の確保に努めた。						
(3) 院内物流管理システム等を活用した経費削減の推進			継続して実施				
取組状況	令和3年6月から、診療材料費の更なる削減と業務効率化を目指し、公募型プロポーザルで選定したSPD業者に業務委託先を変更し、一層の在庫調整と価格削減に努めた。						
今後の取組	引き続き、地域包括ケア病棟の効率的な運用により稼働率の向上と患者数増加を図る。また、院内物流管理システムを活用し、一層の在庫調整と価格削減による経費節減に取り組んでいく。令和4年度は診療報酬改定があることから、その改定内容を精査した上で、適切に施設基準や指導料の取得を目指すことで収益確保につなげていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○経費の削減 ○費用対効果の向上 ○財政・経営の健全化		備考				

番号	75	取組名	市民病院の患者確保策		担当課	市民病院経営管理課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	患者確保のためには、医師不足の解消が喫緊の課題であり、富山大学寄附講座を通して医師派遣を依頼するとともに、出前講座、市民公開講座等を通じ、市民へPR活動を行う。 また、地域連携を推進し、他の医療機関からの紹介患者の受入を増やすとともに、救急医療体制を充実し、救急患者の受入を増やす。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	1日当たりの在院患者数		人	133.1	143.2	145以上	84.9%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 寄附講座開設による医師増			検討				
取組状況	大学側からの要請により一時保留となっている。						
(2) 他医療機関からの紹介患者受入			順次実施				
取組状況	患者の紹介・逆紹介を積極的に推進して病診連携に努めた。 紹介（他院⇒当院）H29:3,072、H30:3,331、R1:3,282、R2:2,894、R3:3,139 逆紹介（当院⇒他院）H29:2,892、H30:3,102、R1:2,756、R2:2,401、R3:2,921						
(3) 救急医療体制の充実			順次実施				
取組状況	受入不能事案の原因と対策を協議し、積極的な救急患者の受入れを行った。 救急室利用件数 H29:3,148、H30:2,922、R1:2,597、R2:2,140、R3:2,691 救急搬送受入件数 H29:1,117、H30: 984、R1: 944、R2: 951、R3:1,222						
今後の取組	令和4年度より常勤医（内科医師）が1名減少することで医師の負担が増加することが見込まれることから、負担軽減を図りつつ、引き続き、患者数増加に向けた取組を実行していく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○費用対効果の向上 ○財政・経営の健全化 ○サービスの向上		備考				

基本方針

3 職員と組織の質の向上

取組項目

① 職員の能力及び意欲向上の推進

番号	76	取組名	職員の資質の向上		担当課	人事課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	職場や職員が求める職務遂行に必要な知識・技能を習得する専門研修を実施する。さらに、幅広い視野と高度な知識を習得し、課題発見・解決能力や政策形成能力を養成するため、国、県、自治大学校等の高度な研修機関への職員派遣やテーマを絞った海外研修等を実施する。 また、職員の自発的な学びに対する一層の支援に取り組む。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	専門研修の受講者数(年間延べ人数)		人	491	369	500	0.0%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 国、県等の研修機関への職員派遣			継続して実施				
取組状況	中央省庁派遣研修として内閣府地方創生推進事務局に1名、中堅幹部職員養成研修として富山県市町村支援課に1名、とやま県西園域人事交流として高岡市に1名を派遣したほか、自治大学校や市町村アカデミーに職員を派遣した。						
(2) 海外研修			検討(済)	中止(済)			
取組状況							
(3) 自己啓発の受講(利用)促進			受講メニューの拡充検討・周知・受講促進				
取組状況	通信教育の受講勧奨や資格取得経費助成の周知を行い、通信教育は6件、資格取得経費助成は1件であった。						
今後の取組	新型コロナウイルス感染症に伴う各種事務量の増加の影響などから、研修意欲の低下につながる懸念がある中、事務の見直し等業務効率向上の取組と並行して、受講しやすい環境づくりに留意し、引き続き、研修を通じた人材育成に努めていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○職員の能力・組織力の向上		備考	新型コロナウイルス感染症の影響により、数値目標に掲げた項目の実績値が減少した。			

番号	77	取組名	時間外勤務の縮減		担 当 課	人事課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	時間外勤務縮減に向け、リフレッシュデーの定時退庁、時間外勤務の事前命令の徹底、特定の係や職員に業務が偏重することのないよう事務分担の見直しを行う。 また、RPAの活用など業務改善の推進を図る。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	職員1人当たり年間時間外勤務時間数		時間	81.6	80.4	77.5	29.3%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 時間外勤務の縮減に向けた取組			継続して実施				
取組状況	時間外勤務縮減に向け、リフレッシュデーの定時退庁、時間外勤務の事前命令の徹底を行った。 また、RPAの活用など業務改善の推進を図った。						
今後の取組	引き続き、時間外勤務の事前命令の徹底、リフレッシュデーの定時退庁、RPAの活用など業務改善の推進を図っていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○職員の能力・組織力の向上		備考				

番号	78	取組名	消防団組織の充実強化		担当課	消防本部総務課	
					進捗状況	概ね順調	
取組内容	消防団員加入促進を継続し、消防団員への教育・指導を行い消防団活動での公務災害ゼロを目指す。						
数値目標	項目名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	研修受講人数 (平成26年度からの累計とする)		人	1,028	1,253	2,000	23.1%
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 消防団員加入促進			継続して実施				
取組状況	市内事業所や公的施設にポスターを配布、成人式において新成人にリーフレットを配布、市広報や市ホームページに団員募集を掲載するなど、若年層の消防団員加入促進に向けた広報活動を実施した。また、新たな取組として新規採用職員に対し、新任職員研修において消防団員についての説明等を行い、消防団員加入促進を図った。						
(2) 消防団員研修			継続して実施				
取組状況	県消防学校や県消防協会が主催する研修会に消防団員が参加し、消防団活動に必要な知識と技能の修得、組織全体の安全管理の強化を図った。						
今後の取組	地域の防災力充実強化を図るため、引き続き、地域や企業、大学等と連携し、消防団員の確保に努めるとともに、社会情勢に即応できる高度な専門知識と技能の修得のため、多数の消防団員に各種研修参加を促し、組織の安全管理に努めていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○市民協働の推進 ○サービスの向上		備考				

取組項目 ② 時代の変化に対応した弾力的な組織体制の構築

番号	79	取組名	組織体制の充実・強化			担 当 課	人事課
						進捗状況	順調
取組内容	市の重要施策の取組方針に合わせた組織改編や業務移管を行うほか、年間を通して業務ごとの繁閑に柔軟に対応できるよう少人数系の統合も検討する。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 組織体制の見直し			継続して実施				
取組状況	企画管理部内にDX推進班を新設したほか、財務管理部、産業経済部及び都市整備部においては、所管業務の見直しに合わせた組織改編を行った。また、市民生活部においては、女性活躍をはじめ、市民の誰もが活躍できるまちづくりを目指し、地域振興・文化課を市民活躍・文化課に改称した。						
今後の取組	引き続き、各課の現状把握や課題共有をしながら、新たな取組への対応や事務効率の向上につながるよう、組織体制の見直しは、柔軟に行っていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○事務効率の向上 ○サービスの向上 ○職員の能力・組織力の向上		備考				

番号	80	取組名	求める人材の採用・確保	担当課	人事課	進捗状況	順調
取組内容	ウェブエントリーによる試験申込みや試験センター等の利用による遠隔地受験の実施を検討するなど、受験しやすい環境整備に取り組む。 また、市ホームページを充実させ、職場としての魅力発信を強化する。						
数値目標	項目名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)	
	職員採用計画人数の達成率 (病院除く)	%/毎年度	100	100	100	100%	
	取組スケジュール	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(1) ウェブエントリーの実施	検討(済)	実施(済)				
取組状況							
	(2) 遠隔地受験の実施	検討(済)	実施				
取組状況	一部の試験区分においてテストセンター方式の試験を実施し、全国のテストセンター会場で受験を可能とした。また、第1次試験の面接試験をリモートで実施した。						
	(3) 市ホームページの充実	検討(済)	継続して実施				
取組状況	職員募集の動画を作成し、市ホームページの職員採用情報のページに掲載した。						
今後の取組	市ホームページをはじめ各種広報媒体の活用や、就職説明会の充実などの取組を通して、選ばれる職場としての魅力発信を継続していく。						
	収支改善額		千円				
狙う効果	○職員の能力・組織力の向上	備考					

取組項目 ③ 職員定数及び給与の適正化

番号	81	取組名	職員の定年引上げ制度等の適正運用 【R3新規】			担 当 課	人事課
						進捗状況	概ね順調
取組内容	国から提供される資料や説明会への出席、また、他自治体との情報共有を図りながら、令和4年度中に関係条例・規則の改正及び人事・給与システムの改修を行う。 併せて、本制度の導入を踏まえた計画的な定員管理や職員配置を行う。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(R02)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 条例等の改正・システムの改修					検討		実施
取組状況	国や県からの通知等の情報収集と市が検討すべき内容、課題の整理を行った。						
(2) 人事管理を含めた制度の適正運用							実施
取組状況							
今後の取組	国からの情報提供や県及び県内自治体の検討状況を踏まえ、条例改正に向けて事務を進めている。						
収支改善額				千円			
効果	○職員の能力・組織力の向上		備考				

番号	82	取組名	職員数の適正管理		担当課	人事課
					進捗状況	概ね順調
取組内容	I C Tの活用等による業務効率化を推進しながら、定員適正化計画に沿った職員数の適正管理を継続する。					
数値目標	項 目 名	単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	職員数（消防・病院を除く）	人	595 (H31.4.1 現在)	588 (R4.4.1 現在)	602 (R6.4.1 現在)	0.0%
取組スケジュール		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 定員適正化計画の策定		実施(済)				
取組状況						
(2) 職員数の適正管理		継続して実施				
取組状況	行政（デジタル庁）を創設するなど、積極的な職員採用を行ったが、技術職や保育士等で計画どおりに採用できない職種があった。					
今後の取組	現行の定員適正化計画に沿った職員数の管理だけでなく、令和5年度以降の定年引上げを見据えた定員管理に取り組んでいく。					
収支改善額			千円			
狙う効果	○職員の能力・組織力の向上	備考				

番号	83	取組名	職員給与の適正化			担 当 課	人事課
						進捗状況	順調
取組内容	給与制度の運用に当たっては、職員の意欲・能力を引き出すために人事評価結果を的確に給与へ反映させるとともに、毎年度の人事院勧告に基づく給与改定など給与の適正な管理に努めている。						
数値目標	項 目 名		単位	当初(H30)	実績(R03)	目標(R05)	達成率(R03)
	—		—	—	—	—	—
取組スケジュール			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 職員給与の適正な管理			適正管理				
取組状況	人事評価を行い、評価結果を昇給及び勤勉手当の成績率に反映させた。 人事院勧告の内容に準拠し、期末手当支給月数の改正を行った。						
今後の取組	人事院勧告、国や県その他の地方公共団体の状況を踏まえ給与改定を行い、適正な管理に努めていく。						
収支改善額				千円			
狙う効果	○透明性の確保・市民への説明責任 ○職員の能力・組織力の向上		備考				

※本プラン計画期間中に完了した取組

年度	取組名
令和元年度	小杉ふれあいセンターの在り方の検討
	家具転倒防止器具設置事業の見直し
	小杉社会福祉会館の機能転用
	足洗老人福祉センターの廃止（民間売却）
令和2年度	A Iを活用した市民サービスの向上と業務の効率化
	I C T活用学級復帰支援協働事業の実施
	P D C Aサイクルに基づく主要事業の改善
	国民健康保険事業財政の健全化
	斎場使用料の適正化
	射水市公園施設長寿命化計画の改訂
	射水市住生活基本計画に基づく市営住宅の見直し
	会計年度任用職員制度の適正運用